

医薬品適正使用啓発事業
医薬品適正使用アンケート調査報告書

平成24年3月

社団法人 神奈川県薬剤師会
医薬品適正使用調査委員会

医薬品適正使用啓発事業 医薬品適正使用アンケート調査

社団法人神奈川県薬剤師会 医薬品適正使用調査委員会

1、調査研究目的

医薬品適正使用は、安心して安全な県民生活において必要不可欠な要素でありながらも、会員薬局へ来局する患者相談において、誤った服用方法、抑えるべき併用薬及び多量の残薬等が数多く確認され、この現況にどう対応していくかが当面の課題である。アンケート調査により医薬品適正使用に係る課題の抽出を図り、今後の啓発活動の方向性等を検討すると同時に、信頼されるかかりつけ薬局・薬剤師となる施策の検討に資する。

2、アンケート調査の構成

本調査では、以下の2種類を実施した。

- 2-1 医療用医薬品アンケート調査
- 2-2 OTC医薬品アンケート調査

3、調査方法

- ・対象：一般県民
- ・調査期間：平成23年10月～11月
- ・調査回収件数：

医療用医薬品関係	932件
OTC医薬品関係	890件

4、調査研究成果と考察

- 4-1 医療用医薬品アンケート調査 別紙1のとおり
- 4-2 OTC医薬品アンケート調査 別紙2のとおり

5、まとめ（今後の方針）

別紙のとおり

6、引用文献

- ・医療薬学 第36巻 第4号 別刷 一般社団法人 日本医療薬学会

7、調査研究発表

- ・神奈川県薬剤師会ホームページに掲載予定

お薬についてのアンケート調査

あなたのご協力をお願い申し上げます！

このアンケート調査は神奈川県補助を受けて、神奈川県薬剤師会が実施するものです。アンケートの回答は統計的に処理しますので、あなたの個人情報漏れることはありません。また、アンケート調査結果は今後より良い医薬品の使用や健康情報の提供を行うときの参考にするとともに、学会などで発表して社会のために役立てます。

どうぞご安心の上、このアンケート調査にご協力下さるようお願い致します。

- ★ 以下の質問は『病院・医院で出されたお薬、処方せんで調剤されたお薬』についてお答えください。
- ★ 『処方せんなしに薬局・ドラッグストアで買ったお薬』についてはお答えにならないでください。
- ★ ご回答はとくにことわりのあるもの以外、最もよくあてはまるもの1つに○印をつけて下さい。

Q1: 現在、あなたは持病などで定期的に病院や医院(歯科医院を含む)にかかっていますか？

- 1. はい →Q2の質問にお進み下さい
- 2. いいえ →Q3の質問にお進み下さい

Q2: あなたは、おおよそどのくらいの頻度で病院や医院(歯科医院を含む)にかかりますか？

★例: 1ヵ月に「内科に2回・整形外科に2回」かかる方は、「1ヵ月に4回」になります。月によって病院や医院にかかる頻度が異なる方は、平均したおおよその頻度でお答え下さい。

- 1. 1ヵ月に3～4回以上
- 2. 1ヵ月に1～2回程度
- 3. 1ヵ月に1回未満

Q3: 今までに、病院・医院で出された薬や処方せんで調剤されたお薬を飲み残したりして、お薬が余ったりしたことがありますか？

- 1. ある →Q4の質問にお進み下さい
- 2. ない →Q9の質問にお進み下さい

Q4: 飲み残したり使い残したお薬、余ったお薬は、どのようなお薬ですか？

点線の上に、お薬の種類または出された病院や医院の種類などを具体的にお書き下さい。

例: 「血圧を下げる薬」、「整形外科で出された腰痛の貼り薬」のように書いて下さい。

また、お薬はどのくらい残りましたか？例にならって、おおよそ残った個所に●印をつけて下さい。

次のページの回答欄に、最も多く余っているお薬を5種類まで書いて下さい。

	全部残	半分残	残なし
お薬の種類: 例 血圧を下げるのみ薬 2割くらい残っている			
お薬の種類: _____			
お薬の種類: _____			
お薬の種類: _____			
お薬の種類: _____			
お薬の種類: _____			

Q5: お薬を、飲み残したり、使い残した理由をお答えください。

当てはまるものすべてに○印をつけてください

1. 飲み忘れ、使い忘れがあったので残った
2. 症状が現れたときに飲む薬(頓服薬)や症状により加減して使う薬だったため、使用しなかった分が残った
3. 自分で加減して飲んだ(使用した)ので残った

『自分で加減して飲んだ(使用した)』理由を簡単にお書きください

4. 症状に比べて必要以上に与えられた薬だったので残った
5. 非常時・災害時などのために、予備にとっておいた
6. その他(具体的お書き下さい: _____)

Q6: お薬を飲み残したり、使い残したとき、どうされましたか?

1. 何もしなかった
2. 医師に話して薬の量を調節(減らして)してもらった
3. 薬剤師に話して薬の量を調整(減らして)してもらった
4. その他(具体的にお書き下さい: _____)

Q7: 飲み残したり、使い残したお薬は、どのようにしましたか?(複数回答可)

1. まだ、置いてある(捨てたりしないであってある)
2. 自分以外の人(家族や友人、知人)が使用した
3. 後になって、自分が使用した
4. 捨てた
5. その他(具体的にお書き下さい: _____)

Q8:お薬の飲み残し、使い残しについて思っていることを自由に書いて下さい

Q9:あなたは、病院や医院で出される薬について以下のようなことが起こった時、誰に相談しますか？

◆ お薬があなたの病気や症状にあっていないと感じた時

1. 医師(歯科医師) 2. 薬剤師 3. その他の医療関係者
4. 家族や友人、知人など医療関係者以外の人 5. 相談しない

◆ お薬の量が多すぎる(少なすぎる)と感じて、お薬の量を加減したい時

1. 医師(歯科医師) 2. 薬剤師 3. その他の医療関係者
4. 家族や友人、知人など医療関係者以外の人 5. 相談しない

Q10:あなたは「お薬手帳」をもっていますか？

★「お薬手帳」は、あなたが服用(使用)中のお薬、過去に服用(使用)したお薬の種類、服用(使用)量、服用(使用)方法などを医療用医薬品、OTC医薬品の区別なく記録した手帳のことです。

この手帳の記録により、あなたが過去に服用(使用)した薬のことがわかるため、薬の飲み合わせなどによる副作用、健康被害を防ぐことができます。

★「医療用医薬品」とは、病院や医院で出される薬、薬局で処方せんによって調剤してもらう薬のことです

★「OTC医薬品」とは、処方せんなしに薬局やドラッグストアで買うことができる薬のことです

1. 持っている、医療用医薬品もOTC医薬品もすべての薬について記録している

◆ 記録のめれはありますか？ 1. ない 2. 少しある 3. かなりある →Q11の質問にお進み下さい

2. 持っている、医療用医薬品だけ記録している(OTC医薬品については記録していない)

◆ 記録のめれはありますか？ 1. ない 2. 少しある 3. かなりある →Q11の質問にお進み下さい

3. 持っているが、薬についての記録はつけていない →Q11の質問にお進み下さい

4. 持っていない →Q14の質問にお進み下さい

Q11:病院・医院にかかるとき、医師に「お薬手帳」の記録を見せますか？

1. 必ず見せる

2. 見せるときと見せないときがある

3. ほとんど見せない、見せない、持っていない

Q12: 薬局で処方せんによって調剤してもらうとき、薬剤師に「お薬手帳」の記録を見せますか？

1. 必ず見せる
2. 見せるときと見せないときがある
3. ほとんど見せない、見せない、持っていない

Q13: 薬局・ドラッグストアでOTC医薬品を買うとき、薬剤師などの専門家に「お薬手帳」の記録を見せますか？

★ OTC医薬品とは「処方せんなしに薬局やドラッグストアで買うことができる薬」のことです

1. 必ず見せる
2. 見せるときと見せないときがある
3. ほとんど見せない、見せない、持っていない

Q14: 病院や医院で出される薬や薬局で調剤してもらう薬について思っていることを自由に書いて下さい

.....

.....

.....

.....

《あなたについてお答え下さい》

Q15: あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

Q16: あなたの年齢を教えてください。

1. 19歳以下
2. 20～39歳
3. 40～59歳
4. 60歳以上

アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました！

お薬についてのアンケート調査

あなたのご協力をお願い申し上げます！

このアンケート調査は神奈川県補助を受けて、神奈川県薬剤師会が実施するものです。アンケートの回答は統計的に処理しますので、あなたの個人情報漏れることはありません。また、アンケート調査結果は今後より良い医薬品の使用や健康情報の提供を行うときの参考にするとともに、学会などで発表して社会のために役立てます。

どうぞご安心の上、このアンケート調査にご協力下さるようお願い致します。

★ ご回答はとくにことわりのあるもの以外、最もよくあてはまるもの1つに○印をつけて下さい。

★「OTC医薬品(一般用医薬品)」とは、薬局やドラッグストアで処方せんがなくても買うことができる医薬品のことです。これに対して、病院や医院で出されたり、薬局で処方せんによって調剤してもらう医薬品のことを「医療用医薬品」といいます。

Q1:OTC医薬品は、おもにどこで買いますか？

最も機会の多いもの一つに○印をつけて下さい。

1. ドラッグストア
2. 薬局
3. 薬局・ドラッグストア以外の販売店(スーパー・ホームセンター・コンビニなど)
4. インターネットやカタログ・パンフレットによる通信販売
5. 「置き薬」(業者が持ってきて置いて行った「置き薬」)
6. その他()

Q2:OTC医薬品の選び方についてお答え下さい。

あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

1. 薬剤師や登録販売者に相談して選ぶ
2. 店内に掲示されている「おすすめ品」の表示やポスター広告などを見て選ぶ
3. 値段で選ぶ
4. いつも決まったOTC医薬品を服用(使用)しているので、それを選ぶ
5. ほかの人からすすめられたり、評判が良いものを選ぶ
6. テレビコマーシャルや新聞・雑誌の宣伝をしているものを選ぶ
7. インターネットで調べて選ぶ
8. その他()

Q3: 病気やけがにOTC医薬品を使って対処するとき、そうする理由をお答え下さい。

あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

1. 病気やけがの症状が軽く、OTC医薬品で十分な場合だから
2. OTC医薬品がよく効くから
3. OTC医薬品の方が容易に入手できるから
4. 自分の知識で対処できる程度の病気・けがだから
5. 過去に起こった症状と同じで、対処法がわかっているから
6. かかりつけの薬局・ドラッグストアがあつて相談できるから
7. 医師の診療による治療では、時間がかかりすぎるから
8. 医師の処方薬の副作用が心配だから
9. 身近に相談できる家族、知人、友人がいるから
10. 費用が安くすむから
11. OTC医薬品は使用しない(ごく軽い病気・けがでも医療機関にかかる)
12. その他()

Q4: 初めて服用(使用)するOTC医薬品を服用(使用)するとき、説明書(添付文書・効能書き)を読みますか？

1. 全部読んでから服用(使用)する
2. 必要最小限のことだけ読んで服用(使用)する
3. 説明書(添付文書・効能書き)は読まない、外箱の説明などを読んで服用(使用)する
4. その他()

Q5: OTC医薬品を説明書通りに服用(使用)していますか？

1. 説明書(添付文書・効能書き)通りに使用している
2. 説明書(添付文書・効能書き)通りに使用しないこともある(量を加減したりすることがある)

Q6: 平成21年6月、薬局・ドラッグストアでのOTC医薬品の販売方法が変わったことをご存じですか？

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 知らなかった

Q7: 販売方法の変更で、副作用の危険度(リスク)や注意を払って服用(使用)しなければならない程度に応じて、OTC医薬品は、第一類医薬品、第二類医薬品、第三類医薬品にリスク区分されました。
分類(リスク区分)されてよかったと思いますか？

1. 強く思う
2. まあそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全く思わない

Q8: 今までにお薬を服用(使用)して薬の副作用と思われる症状が出た経験がありますか？

1. ある →Q9の質問にお進み下さい
2. ない →Q12の質問にお進み下さい

Q9: そのお薬は、調剤されたものですか、それとも買ったものですか？

1. 病院や医院で出された薬、あるいは処方せんを持って行って調剤してもらった薬(医療用医薬品)
2. 処方せんなしに買った薬(OTC医薬品)
3. 1と2の両方

Q10: 「副作用と思われる症状」が出たお薬はどのようなお薬で、どのような症状が出ましたか？

お薬の種類と症状を具体的にお書き下さい。

例:『痛み止めを飲んだら薬疹が出た』、『鼻炎の薬を飲んだら尿が出にくくなった』、『筋肉痛の湿布薬を貼ったら赤くかぶれた』

解答欄:

Q11: 「副作用と思われる症状」が出たとき「最初に」あなたはどうしましたか？

あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

1. なにもしなかった
2. OTC医薬品の説明書や薬と一緒にもらった説明書を読みだ
2. 薬局・薬剤師に連絡した(再び、薬局(ドラッグストア)を訪れた)
3. 病院・医院・医師・歯科医師などに連絡した(病院・医院を訪れた)
4. 救急車を呼んで病院へ行った
5. その他(具体的にお書き下さい)

Q12: あなたは薬局・ドラッグストアでOTC医薬品を買うとき次のような質問を受けますか？

薬局・ドラッグストアでOTC医薬品を買わない方はQ13の質問にお進みください。

◆ 「過去に薬を服用(使用)して副作用やアレルギー症状が出たことがあるかどうか」についての質問

1. いつも受ける
2. 時々受ける
3. ほとんど受けたことはない
4. 受けたことはない

◆ 「アレルギー体質かどうか、薬以外の食物などでアレルギー症状が出たことがあるかどうか」についての質問

1. いつも受ける
2. 時々受ける
3. ほとんど受けたことはない
4. 受けたことはない

◆ 「現在治療中の病気があるかどうか、病院・医院にかかっているかどうか」についての質問

1. いつも受ける
2. 時々受ける
3. ほとんど受けたことはない
4. 受けたことはない

◆ 「現在服用中の薬(OTC医薬品、医療用医薬品のいずれも)があるかどうか」についての質問

1. いつも受ける
2. 時々受ける
3. ほとんど受けたことはない
4. 受けたことはない

◆ 「現在服用中の健康食品やサプリメントがあるかどうか」についての質問

1. いつも受ける
2. 時々受ける
3. ほとんど受けたことはない
4. 受けたことはない

Q13:薬局やドラッグストアでは、OTC医薬品について薬剤師などの専門家に積極的に相談したいと思いますか？

1. 積極的に相談して薬や健康のことについていろいろなことを知りたい
2. 積極的に相談したいとは思わない、必要最小限のことだけ相談したい
3. 相談したくない

Q14:ふだんの生活で医薬品や健康についての情報がほしいとき、どこから情報を手に入れますか？

当てはまるもの全部に○印をつけ、最もよく使うものに◎印をつけてください

1. 薬剤師などの専門家(薬局・ドラッグストアで)
2. 医師や看護師などの専門家(病院・医院などの医療機関で)
3. ヘルスケアショップ、化粧品店など薬局・ドラッグストア以外のお店で
4. スポーツクラブなど
5. インターネット
6. 書籍・雑誌・新聞
7. テレビ・ラジオ
8. 人づてに(家族、友人、知人など)
9. その他()

《あなたについてお答え下さい》

Q15:あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

Q16:あなたの年齢を教えてください。

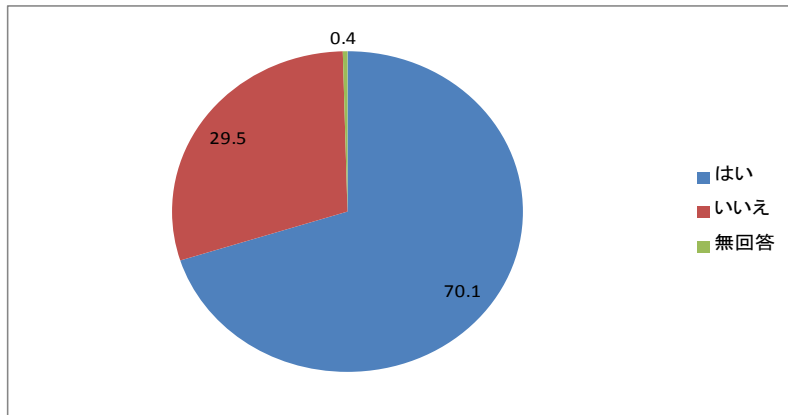
1. 19歳以下
2. 20～39歳
3. 40～59歳
4. 60歳以上

アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました！

お薬についてのアンケート調査結果報告

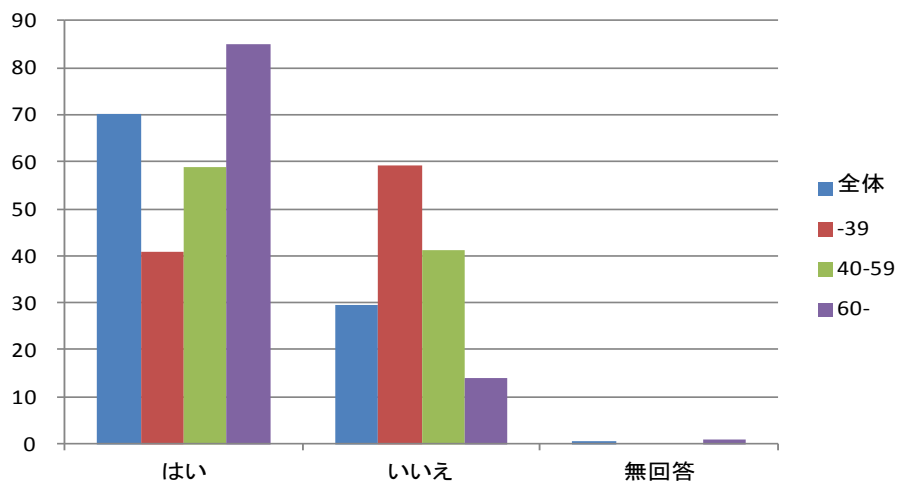
【調査結果】

Q 1：現在、あなたは持病などで定期的に病院や医院（歯科医院を含む）にかかっていますか？



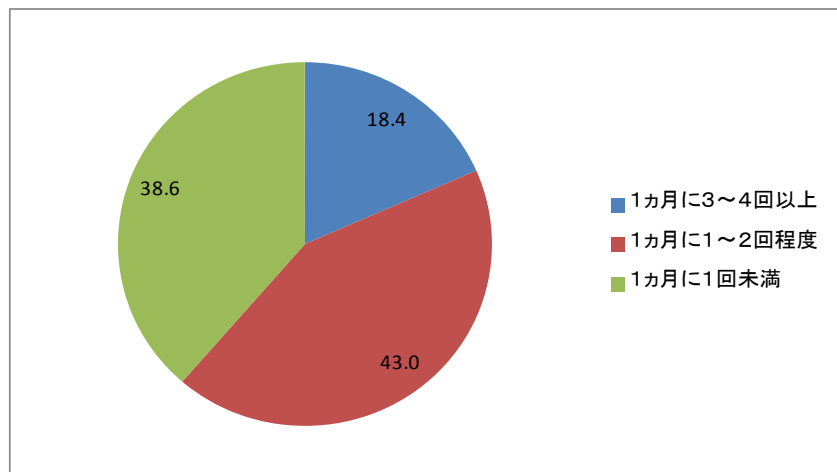
		回答数	割合
1	はい	653	70.1
2	いいえ	275	29.5
NA	無回答	4	0.4
	総回答数	932	
	総回答者数	932	

<年齢別集計結果>



		全体	39歳以下	40-59歳	60歳以上
1	はい	70.1	40.9	58.9	85.1
2	いいえ	29.5	59.1	41.1	14.1
NA	無回答	0.4	0.0	0.0	0.8
	総回答数	932	176	231	502
	総回答者数	932	176	231	502

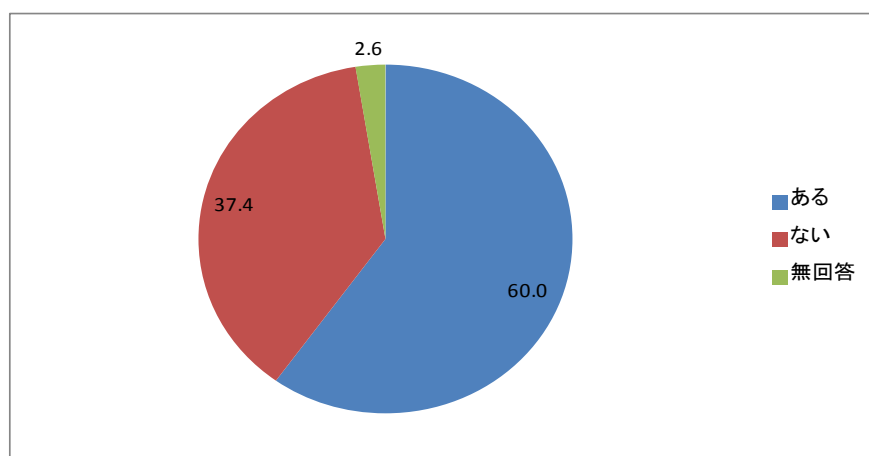
Q 2：あなたは、おおよそどのくらいの頻度で病院や医院（歯科医院を含む）にかかりますか？



		回答数	割合
1	1ヵ月に3～4回以上	134	18.4
2	1ヵ月に1～2回程度	313	43.0
3	1ヵ月に1回未満	281	38.6
NA	無回答	204	
	総回答数	932	分母は総回答者数728
	総回答者数	728	

問1、2より受診状況が把握できた。約70%が病院・医院に受診しており、その多くが1ヵ月に1～2回受診していた。また、1ヵ月に3～4回以上が2割弱いることから今回のアンケート調査項目には無いが、複数科受診も推察された。なお、病院では長期処方が増えているため、受診回数は減っていることが予想される結果であった。

Q 3：今までに、病院・医院で出された薬や処方せんで調剤されたお薬を飲み残したりして、お薬が余ったりしたことがありますか？

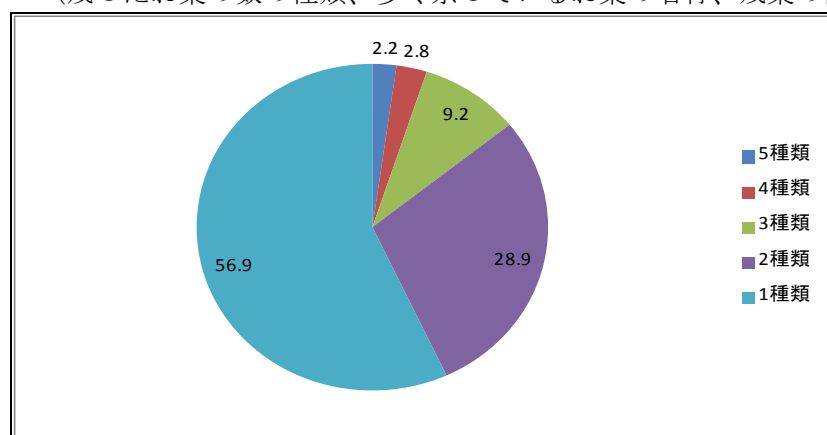


		回答数	割合
1	ある	559	60.0
2	ない	349	37.4
NA	無回答	24	2.6
	総回答数	932	
	総回答者数	932	

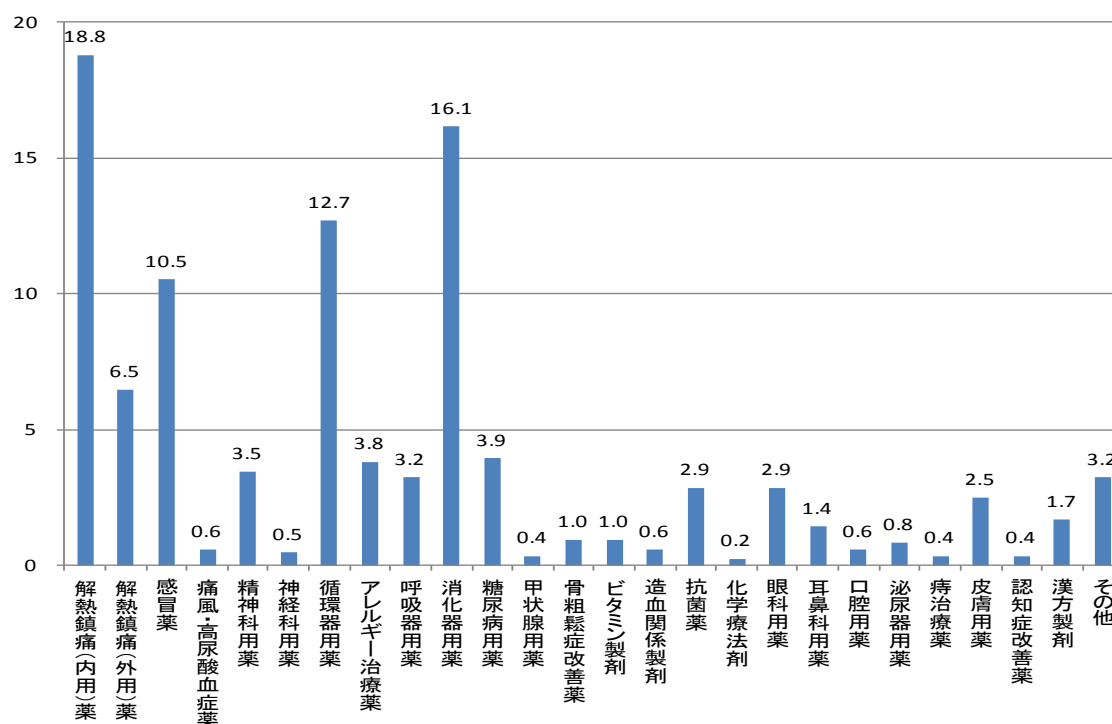
残薬の状況を知る結果であった。その中で余ったことがある方は60.0%あったが、次の理由により、今回の調査では判断できない部分があると思われる。頓服薬などは必要がなければ服用（使用）しない。また、外用薬（塗布薬）などは多少多めに処方されるケースも考えられるため、飲み残しについての原因をさらに調査する必要がある。

ここで問題点として捉えるべきポイントは、これらの残薬をその後どのように処理されたかである。頓服薬などで残った薬の保管方法や期限などを情報提供していくことも必要と感じる。また、継続薬については、服薬指導時に残薬の状況を薬剤師が聞くなど積極的に関与する必要がある。

Q 4：飲み残したり使い残したお薬、余ったお薬は、どのようなお薬ですか？
 （残ったお薬の数の種類、多く余っているお薬の名称、残薬の割合について）



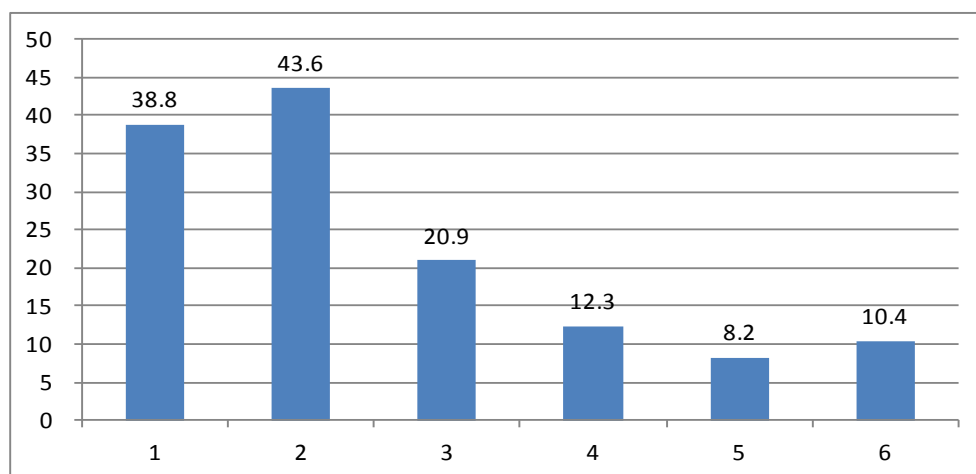
		回答数	割合
1	5種類	11	2.2
2	4種類	14	2.8
3	3種類	46	9.2
4	2種類	144	28.9
5	1種類	284	56.9
NA	無回答	433	
	総回答数	932	分母は総回答者数499
	総回答者数	499	



	回答数	割合	残薬の割合
1 解熱鎮痛(内用)薬	157	18.8	5.01
2 解熱鎮痛(外用)薬	54	6.5	4.43
3 感冒薬	88	10.5	3.56
4 痛風・高尿酸血症薬	5	0.6	2.63
5 精神科用薬	29	3.5	3.14
6 神経科用薬	4	0.5	7.00
7 循環器用薬	106	12.7	2.30
8 アレルギー治療薬	32	3.8	3.20
9 呼吸器用薬	27	3.2	3.40
10 消化器用薬	135	16.1	3.81
11 糖尿病用薬	33	3.9	2.52
12 甲状腺用薬	3	0.4	1.83
13 骨粗鬆症改善薬	8	1.0	3.30
14 ビタミン製剤	8	1.0	4.50
15 造血関係製剤	5	0.6	3.70
16 抗菌薬	24	2.9	3.78
17 化学療法剤	2	0.2	4.25
18 眼科用薬	24	2.9	5.66
19 耳鼻科用薬	12	1.4	4.45
20 口腔用薬	5	0.6	4.50
21 泌尿器用薬	7	0.8	3.00
22 痔治療薬	3	0.4	4.00
23 皮膚用薬	21	2.5	5.13
24 認知症改善薬	3	0.4	3.17
25 漢方製剤	14	1.7	5.35
26 その他	27	3.2	4.15
総回答数	836		
総回答者数	499	平均	3.93

飲み残した医薬品の傾向を知る結果であった。解熱鎮痛薬の内用・外用薬、眼科用剤、皮膚科用剤に関して特に残薬の発生がみられるが、これは頓用が含まれていたり、外用薬など多少多めに処方される傾向にあるため、その影響とも考えられる。一方で、慢性疾患治療薬（糖尿病用薬、循環器用薬他）なども残薬が発生しており、処方薬において薬剤師が積極的に残薬調整に関与すべきと考える。

Q 5 : お薬を、飲み残したり、使い残した理由をお答えください。

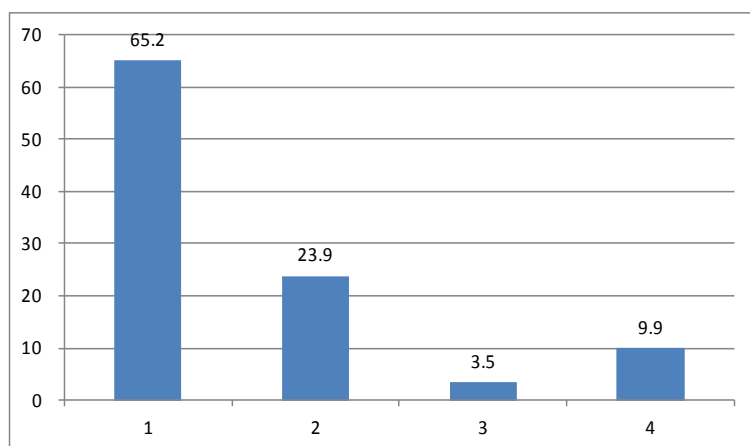


		回答数	割合
1	飲み忘れ、使い忘れがあったので残った	217	38.8
2	症状が現れたときに飲む薬（頓服薬）や症状により加減して使う薬だったため、使用しなかった分が残った	244	43.6
3	自分で加減して飲んだ（使用した）ので残った	117	20.9
4	症状に比べて必要以上に出された薬だったので残った	69	12.3
5	非常時・災害時などのために、予備にとっておいた	46	8.2
6	その他	58	10.4
NA	無回答	373	
	総回答数	1124	分母は総回答者数559
	総回答者数	559	

薬の飲み残し、使い残しの理由について、一般的な理由が把握できる結果であった。頓服薬など症状が現れたときに飲む薬（頓服薬）や症状により加減して使う薬だったため、使用しなかった分が残った結果であった。これは今回の飲み残しと分けて考えるべきである。本来の飲み残しは1、3で回答した飲み忘れ、使い忘れがあったので残った場合や、自分で加減して飲んだ（使用した）ので残った場合を考える。患者の病気に対する認識不足か、薬を出す時の薬剤師のチェックはあったのか、薬を患者に手渡しする時のコミュニケーション不足なのかなど、問題点があげられる。特に自分で加減して飲んだ場合の自己調節の危険性については、しっかりと患者教育が必要である。

症状に比べて必要以上に処方された薬だったので残った場合は、患者と医師の認識の違いなどによって発生しているとも考えられる。本来であれば余らないのに余ってしまった場合や、症状が落ち着いたら服用を中止する場合は、必要以上の日数、回数が処方されたために残るなど原因は色々と考えられる。

Q6：お薬を飲み残したり、使い残したとき、どうされましたか？

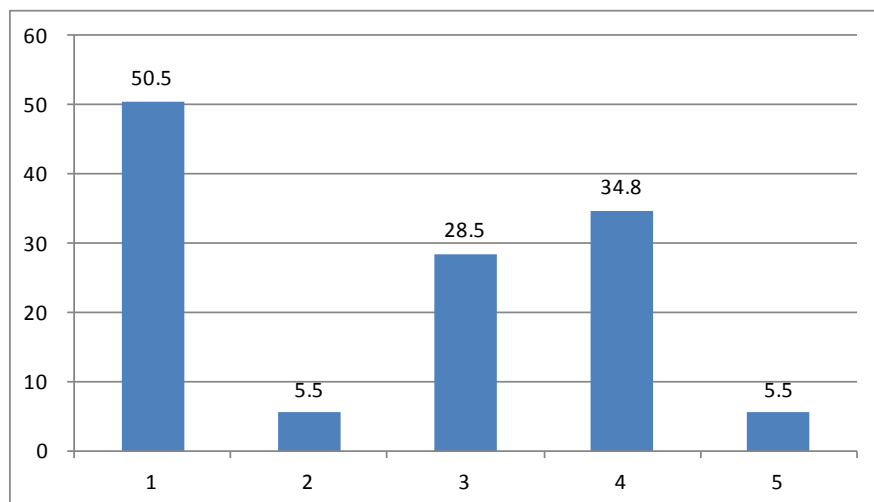


		回答数	割合
1	何もしなかった	374	65.2
2	医師に話して薬の量を調節(減らして)してもらった	137	23.9
3	薬剤師に話して薬の量を調整(減らして)してもらった	20	3.5
4	その他	57	9.9
NA	無回答	358	
	総回答数	946	分母は総回答者数574
	総回答者数	574	

薬の飲み残し、使い残しの場合の対応についての認識を知る結果であった。その中で何もしないと回答したのが、半数以上の 65.2%であった。これまでに、病院や処方せんで調剤してもらった薬が余った時はこのようにしましょう、といった啓蒙活動がなされたことがあったのだろうか。患者からの発言も大事だが、医師、薬剤師からの投げかけも大事であり、医療費・医療事故削減への大きな一歩の可能性がある。医師に言って調整してもらうことも大切であるが、やはり薬は薬剤師が管理すると考え、患者さんの残置薬と処方薬の調整を図るべきである。

また、頓用の場合においては、処方回数が多い場合では、分割調剤して患者に渡し、残薬をなるべく発生させない努力も必要である。

Q 7 : 飲み残したり、使い残したお薬は、どのようにしましたか？ (複数回答可)



		回答数	割合
1	まだ、置いてある(捨てたりしないですってある)	292	50.5
2	自分以外の人(家族や友人、知人)が使用した	32	5.5
3	後になって、自分が使用した	165	28.5
4	捨てた	201	34.8
5	その他	32	5.5
NA	無回答	354	
	総回答数	1076	分母は総回答者数578
	総回答者数	578	

飲み残した薬に対しての意識を知る結果であった。日本人のもったいない精神がここにも存在し、まだ置いてあると回答したのが、50.5%と半数が何らかのかたちで保管していた。ここで注意したいのが、どれくらいの期間保管してあるかである。期限切れ、保管状況によっては変質なども発生する。また、医療用医薬品は処方日数分が薬局での期限保証期間である。しかし、患者さんはそう思っていないと考えられる。この点についても患者教育が必要である。また、残しておくのは本来ではないが、震災以降、手元に薬を置くこともやむないしとするならば、保管方法、保証期間などの情報提供も必要と思われる。

問題として捉えるべき点は、捨てたと回答されたのが34.8%であったことである。捨てた薬の価格を調べることができれば、患者さんの意識を変え医療費抑制につなげる可能性もある。

Q8：お薬の飲み残し、使い残しについて思っていることを自由に書いて下さい

		回答数	割合
1	記入あり	180	19.3
NA	無回答	752	80.7
	総回答数	932	
	総回答者数	932	

	もったいないという意見
1	症状が良くなると最後まで飲まず服用しなくなった薬等が、どんどん増え、それを見るたび「もったいない」と思う。が、また使うかもしれないと、そのまま残していることが多い。
2	飲み残したまま廃棄してしまうのはもったいない。他10件
3	自分が飲み残してしまったのもったいないと思いながら捨てたりしています。抗生剤などは適当に飲んだりしていますが…
4	どうせ今後飲まないならお金がもったいないなと毎回思う
5	もったいないので期限内であれば医師に相談してその分処方を減らしていただけるので自分で管理をきちんとしようと思います
6	もったいないとは思いますが、同じような症状の時は薬が残っていて良かったと思う。他1件
7	使用期限が分からないので残ってしまってもったいないと感じています
8	もったいない。今後あまり使わないようなものと特に代金もかかっているののでできるだけ無駄が出ないように処方してもらいたいと思う。
9	また使用できるもの、その可能性のあるものは念のためとっておきたい。処分するのはもったいない。お金もかかるので。ただあまり飲んだことのないものは取っておいても次何かの時にどう使っていいかわからないので処分することもあり、困っている

10	先生にも言った方がいいかなと思う。もったいない
11	もったいないと思うので、正直に飲み忘れがある事を先生に言うべきだが、先生の前にかくと言い忘れる。
12	食前の薬は（特に朝）忙しく家事をしていて飲み忘れる事が多い。あとで気付くが食後なので飲めない。残った薬はもったいないので使うようにしたい。
13	もったいない 薬が変更になった場合前の分が手元に残ってしまうのでなにかいい方法があればと思います
14	もったいない。有効期限があるので重複しないように
15	もったいないと思いましたが人にあげるわけにいけないので、捨てました。
16	もったいない。残るのももったいないが不足するのが怖い
17	もったいない。いつか使うかと思い、とっておいても古くなってしまう
18	昔は薬を買うのが大変だった。（戦争中）期限は気にせずにとっておき、飲むことができた。お国がお金を出しているのに捨てたらもったいない。
19	処方される薬の量が多い。他 2 件
20	風邪の薬など5日分ほど出ても、ほぼ全て使いきることはないように思う。5日分は多いと思う。
21	風邪薬など必要以上に出ることがある。他 1 件
22	症状に対して医師は、安全係数をみて処方しているのかもしれないが多すぎるような気がする。
23	ムダで困る。税金についてもっと考え医療法の改正をしてほしい
24	無駄になっているような気がした。
25	医者処方の薬は余分があるように思う
26	いらぬ薬は出さない、貰わない。医療費の無駄遣いを強く感じました
27	お返しできたらいいと思います
28	带状疱疹の貼り薬は必要以上に出されたので、困りました。
29	より少量の点眼薬があるとよい
30	いらぬ薬は出さないで
31	薬の回収は別に行なわれるべきである
32	みなさん安心のために多めにもらっているようですが、医療保険金の無駄な使いすぎ、赤字にしないで。
33	基本的に量が多いような…
34	処方される薬の量が多い。他 1 件
35	風邪の薬など5日分ほど出ても、ほぼ全て使いきることはないように思う。5日分は多いと思う。
36	風邪薬など必要以上に出ることがある
37	症状に対して医師は、安全係数をみて処方しているのかもしれないが多すぎるような気がする。

38	ムダで困る。税金についてもっと考え医療法の改正をしてほしい
39	無駄になっているような気がした。
40	医者処方の薬は余分があるように思う
41	いらない薬は出さない、貰わない。医療費の無駄遣いを強く感じました
42	お返しできたらいいと思います
43	帯状疱疹の貼り薬は必要以上に出されたので、困りました。
44	より少量の点眼薬があるとよい
45	いらない薬は出さないで
46	薬の回収は別に行なわれるべきである
47	みなさん安心のために多めにもらっているようですが、医療保険金の無駄な使いすぎ、赤字にしないで。
	いざという時や同じ症状の時のためとっておく意見
1	いざというときに助かる
2	次回まで足りない時に残っていると助かる
3	助かっています
4	無駄にすることがほとんどだが、同じ症状が近い内出そうな時すぐ飲み予防できたことがあり、助かったと思う。やけどの軟膏は10年以上取ってあり、つけている
5	解熱鎮痛の薬などは又同じ症状のとき使うため残してあります
6	症状が出たときに飲もうと思っている。他3件
7	季節で同じ症状な為少しでも置いてあるとすぐに病院に行けないので役立ってます。
8	似た症状が出たときに使用期限が気になりつつも病院に行けないときは再び使用してしまう
9	痛み止めなど使い慣れている薬は残っているといざというとき便利だ。
10	飲み残しは次回の薬の時に飲んで使っています
11	使い残した災害の備蓄になるので有効
12	お薬の飲み残りは順番に新しい薬を残すようにしている。使い残りは新しいくすりが残るよう、非常用として残っている
13	後で使用するかもしれないのでストックしておきたい。他1件
14	災害時や非常時のことを思うと予備がないのは不安なので使用期限に気をつけながら自宅に多めの在庫は確保しておきたい
15	これまでは余計な代金を支払うことになると思っていましたが災害等を考えると10～2週間ぐらい多めにもらっておいたほうが良いのではとおもうようになりました
16	貼り薬は次に病院に行くまで使えるからいい
17	また使用しようと思っている
18	いざという時に使える場合もあるからものによっては便利。他1件

19	痛み止めだったのでないと不安。多めでよかったと思っています
20	何度も病院・薬局に行くのは大変なので少し多めの方が安心する。
21	災害用にいつも持ち歩いている。今回の震災のようなことがあり慢性疾患の薬がなくなると困るのでいつも予備に持っていた方がよいと思う(痛み止め、整腸剤etc)
22	余裕があったほうがよい
23	いくらか家にあると安心
24	頓服的に使っているため
25	少し余ったら、よく、寝つけるときに使用している
26	風邪薬なのでまた使えると思っている
27	非常時用に1週間分くらいは残しておくようにしている。それ以上余った場合は医師に話し調節してもらっている。医師からも毎回薬の残量を聞かれます。
	捨てることに関する意見
1	いつ頃飲めるのか心配である程度だったら捨ててしまう期限がよくわかりづらい
2	捨てる時はどのように？
3	処方された薬はどれぐらいの期間服用していいのですか。捨てる時に迷います。
4	捨てられずに残っているものがかなりあり、置き場所に困るが何か使えるかと思うと捨てられない
5	飲み残した薬が何の薬か後になるとわからなくなってしまう。いつもらった薬だか忘れてしまうので古い薬は飲まないようにしている（結局捨てている）
6	使用期限が分からないので残してよいものか捨てたほうがよいのかわからないことがある。捨てる時も無造作に捨ててよいのかわからない
7	分ずついただいているが途中で、身体の変化等で薬の量や種類が変わったとき、処分方法を医師に聞くと普通に捨てて下さいと言われるが、高価な薬なので保険があるとは思っても、心が痛みます。
8	使用期限が気がかりですが年数のたったものは捨てる
9	古い薬の処分は個人ではなく薬局等ではないのか？
10	今のやり方で仕方ない。できれば病院に持って来て処分箱の様なものに入れる。病院はそれを分析し処方の仕方の参考にする。
11	基本的には廃却
	飲み忘れに関する意見
1	症状の良い時は薬を少なくしてほしい。1日3回飲む薬は昼や出がけなどが忘れやすい
2	毎日服用する薬でない場合は、飲み忘れが時々あるので薬の管理をしっかりとしなければいけないと思っている。
3	昼は忘れる
4	痛み止めの薬が受診のたびに出されても、頓服として痛いときしか飲まないのでD r の処

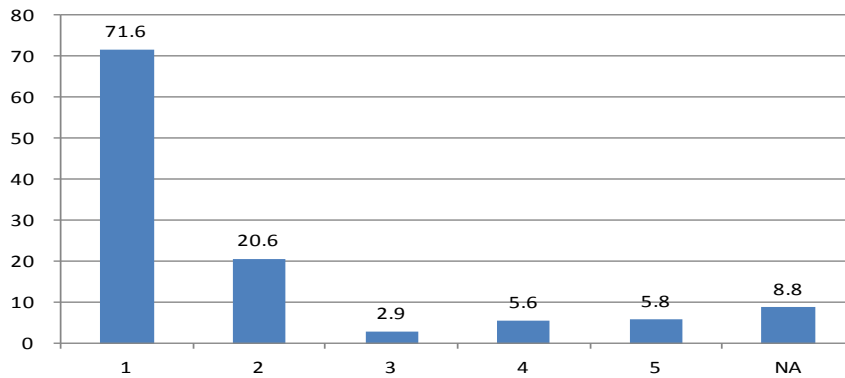
	方の出し過ぎかと思う。又、糖尿病の食直前にのむ薬は忘れやすい。たくさん残っている薬がある場合にはD rに話せばいいと思うが「何だ、きちんと飲んでいないのか」と叱られそうな感じもするので言いづらい
5	飲み忘れなど多くていつもお薬残っちゃいます。ダメだなと思います。
6	症状が落ち着いているとつい飲み忘れてしまう
7	飲み忘れ安易に考えている。胃薬は健康を感じる時には飲まなくてもいいかなあと思って面倒くさいという気持ちもある。
8	夕食又は昼食を外食した時、薬を忘れて飲まない
9	セイブル錠50m gは飲み忘れが食事の途中で気がつきますが、食事中に飲んでも無意味と聞かされ飲み残しが多くなります。
10	治ると忘れる。開封すると古い薬使えない
11	飲み忘れがたまると、医師に言って、日数を調節してもらってる。
12	飲み忘れが多い
13	使用のタイミングを逃し、薬の事自体を忘れてしまう
14	体調が良くなると飲み忘れてしまう
15	飲み忘れても何ともない
16	血圧を測るのを忘れることがあるので飲み残すことある。
17	朝起きるのが遅くて、昼食を食べない事が多く、昼食後の薬を飲まない事が多い。
18	わすれる
薬の保存期間に関する意見	
1	いつまで使えるのか使用期限を明記してほしい
2	頓服の吐き気止めなどは使用期限が書いてあるとよい
3	もらった期限を記載において必要に応じ服用
4	どのくらいの期間まで使えるのか保存可能なのか知りたい。他2件
5	薬の効能期限があるのか？と疑問に思うことがあります
6	また必要になったとき使えるかなと思ってしまう。使用可能期限がわからないので危ないかなあと思えなかったりする。
7	処分すればいいのだろうか。有効期限がかいていないためどうなのか不安になる。
8	有効期限がわからない
9	使用期限が分からないので困っている
10	処方がわかっていて使用期限内のものは使うときもある。
11	使用期限が切れるまでとっておく
病院・医師に関する事	
1	個人病院は薬をバカスカ出す。いらないと言うとグチグチ言う。
2	便がゆるくなった為、飲まなかった。D rに相談し変更してもらった。

3	知らないうちに随分増えてしまったので次回の通院時に先生にお話して減らしてもらおうかと思っています。
4	初診で薬の量が多すぎる。医者は何日分必要かを聞けばいいと思う
5	長い年数なので自分で先生に話をして調整してもらう
6	血圧の場合も胃腸の場合も何年も同じ先生に診てもらっているので、受診期間を延ばしたり、先生に話して減量してもらった場合もある。
7	副作用が出た時は飲まずに医師に相談
8	医者が少し聞いてほしい
9	どうして医師は薬をどんどん出したがるんでしょう
	お薬の飲み残し、使い残しについて心がけていること、感じたこと
1	症状の軽いときは貼らない
2	自身で加減できる人ならしてもかまわないと思う
3	これからは無駄にしないようきちんと服用しようと思いました
4	過剰にもらわないようにしている
5	ある程度のところで整理して使っている
6	治ったら必要ない判断する。
7	余計な薬はもらわない。少しくらいの痛みは自分で治す
8	ただただ余分にもらうようにしている
9	必要なければ飲まない
10	又、同様の症状が出たとき安心で良いと思う反面前回と違う病気だとしたら早期発見を見逃す為、貼り薬以外は用法を守って飲むように心がけています。
	その他
1	副作用が怖い
2	鎮痛剤は予備のケースが多く無駄になる場合が多いが仕方にとっている
3	薬は定期的に服用しないと飲み続けても意味がなくなる。特に抗生物質は1日飲み忘れるとそれで効果が途切れて飲んでいる意味がなくなると思う。
4	一般的な薬の場合他人でも使用できるように思う。
5	本人が管理できればよいと思う。病院に行かずにすむことがあるので。
6	使えるときに使えばいいと思っている。
7	あまり気にしていない。この薬は自分には強すぎる。
8	坐薬等は冷所保存なので何年も置いている
9	その時々に出して頂く薬ですので前の薬は家に有るものもあります
10	薬を飲むと胃がやられるのでもう一つ別の薬を飲まなければならない時
11	もったいない。返金してほしい
12	胃への負担軽減で残す薬は次回利用しても良いですか？

13	飲み残した薬は、期限が切れる可能性があるので、注意しないといけない。
14	基本的には症状がなくなっても残さないように飲んでいる
15	薬が残っていてもなかなか医師には言えない
16	自己調節して飲み残した事で血圧が上がり、現在の病気（脳血管疾患）を患ってしまった。
17	4週間ごとに病院に来て医師の指示薬が変わる場合前の薬が残る
18	残ってもいいので良くなったら飲まないでと言われ渡される。残るとわかって渡しているのでしょうか
19	症状がいつどのようにおさまるかがわからないので残っても仕方ない
20	症状がつづくなら通院を続けるが軽減すれば当然通院は終わる。そして使い残しが発生する。適量より多めにもらう結果となる。
21	自分に必要な量を処方してくれているので飲み残しには十分に注意しようと思う。
22	腰痛などで痛みがおさまれば、湿布薬は残しておきます。
23	外用薬はチューブに入っているので使い残しは仕方ない
24	医師に数の調整をしてもらっていたが、数回お願いしたら、怒られて、その後言いづらく、残っている。
25	熱が高い時の薬など残ってもしかたないと思っている。
26	少し残っている方が最近の災害があるので安心があるので先生に話して先生の指示にしたがっています。
27	花粉の飛散時期が終わったので薬を飲まなくなり残った。
28	今後残った薬は次月に持ち越し医師に調節してもらう。
29	予備に残していないと困る
30	医師から言われた通りきちんと服用して飲み残しをしない方がよいと思う。
31	もらいすぎてしまった
32	痛み止めについて症状がおさまっていても医師が処方箋にそのまま載せていたりする。(症状を確認する前に既に処方箋ができあがっていることがある)
33	痛み止めについて症状がおさまっていても医師が処方箋にそのまま載せていたりする。(症状を確認する前に既に処方箋ができあがっていることがある)
34	飲みきった方がよいとも思うが、症状が軽くなるとどうしても飲まなくなってしまう。
35	処方変更も残によってタイミングを変えてほしい
36	薬にも賞味期限を印字できないか、使い残しを薬局で下取りしてもらえないか
37	薬局なり安価でいいから引き取ってほしい。漢方は高いので 何十日分も残っているの
38	何の薬かわからなくなった時は教えてほしい

Q9：あなたは、病院や医院で出される薬について以下のようなことが起こった時、誰に相談しますか？

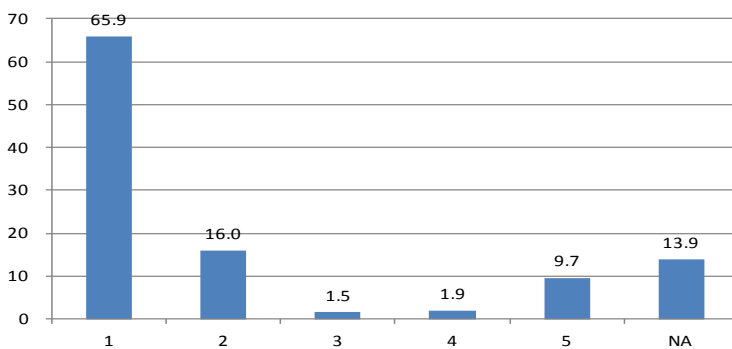
◆ お薬があなたの病気や症状にあっていないと感じた時



		回答数	割合
1	医師(歯科医師)	667	71.6
2	薬剤師	192	20.6
3	その他の医療関係者	27	2.9
4	家族や友人、知人など医療関係者以外の人	52	5.6
5	相談しない	54	5.8
NA	無回答	82	8.8
	総回答数	1074	
	総回答者数	932	

お薬があなたの病気や症状にあっていないと感じた時は医師・歯科医師に相談するが71.6%であり、場合により処方変更もあるので順当な回答であった。しかし、この場合に医師、歯科医師、薬剤師以外に聞いていたり、相談しない方もあり、薬の副作用などの出現時の対応について患者教育が必要と思われた。今回の質問形式による結果であることを踏まえ、相談内容によるが、薬のことであればまず薬剤師に聞いてもらうように薬剤師側の努力が必要である。薬剤師は薬の説明だけでなく、体調の変化にも気付いてあげられる配慮が欲しいとする意見も上がった。

◆ お薬の量が多すぎる(少なすぎる)と感じて、お薬の量を加減したい時



		回答数	割合
1	医師(歯科医師)	614	65.9
2	薬剤師	149	16.0
3	その他の医療関係者	14	1.5
4	家族や友人、知人など医療関係者以外の人	18	1.9
5	相談しない	90	9.7
NA	無回答	130	13.9
	総回答数	1015	
	総回答者数	932	

薬の量の調整についての質問では、医師・歯科医師に相談するが65.9%であった。この調査については残薬調整についての設問を想定していたが、その他の医療従事者、家族や友人と回答するケースもあり、質問意図が理解されていないように思える。

残薬調整は医師に相談し処方してもらうよりは、身近なかかりつけ薬局で細かく相談にのり対応すべきである。

Q10：あなたは「お薬手帳」をもっていますか？

1. 持っている、医療用医薬品もOTC医薬品もすべての薬について記録している

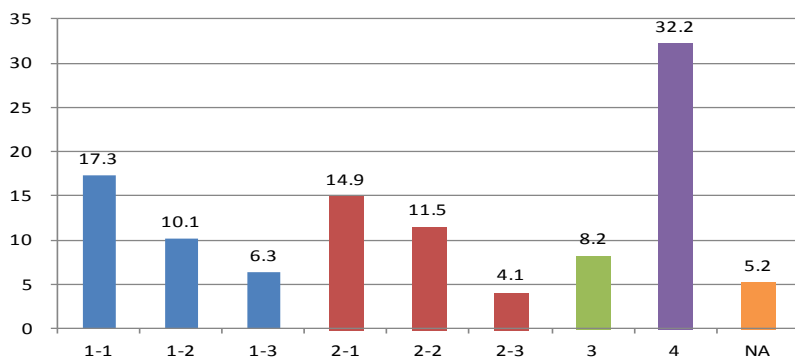
◆記録のもれについて(1-1:ない、1-2:少しある、1-3:かなりある)

2. 持っている、医療用医薬品だけ記録している (OTC医薬品については記録していない)

◆記録のもれについて (2-1:ない、2-2:少しある、2-3:かなりある)

3. 持っているが、薬についての記録はつけていない

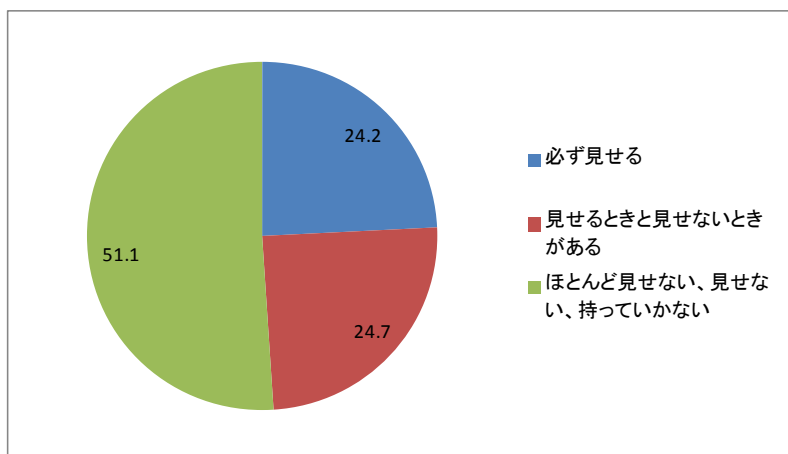
4. 持っていない



		回答数	割合	
1-1	ない	161	17.3	33.7
1-2	少しある	94	10.1	
1-3	かなりある	59	6.3	
2-1	ない	139	14.9	30.5
2-2	少しある	107	11.5	
2-3	かなりある	38	4.1	
3	持っているが、薬についての記録はつけていない	76	8.2	8.2
4	持っていない	300	32.2	32.2
NA	無回答	48	5.2	
	総回答数	1022		
	総回答者数	932		

お薬手帳の認知度は低く、持っていないと回答したのが 32.2%であった。また、本来の意味を理解してOTC薬まで含めて有効に活用していると思われるケースは 17.3%とかなり低かった。お薬手帳の目的、使い方及び有効性などポスター等を利用して普及、啓発していくことが必要である。

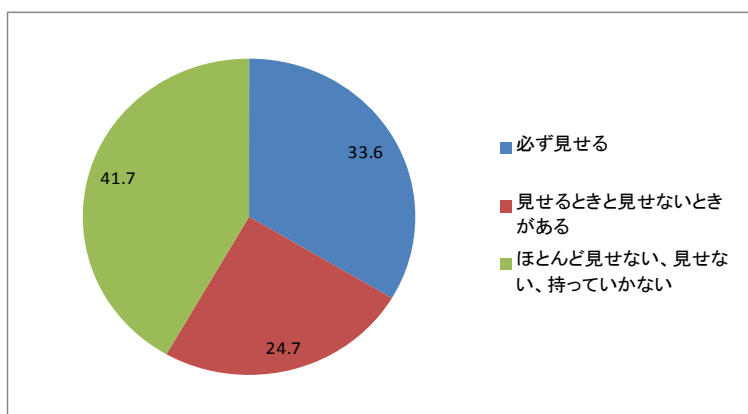
Q11：病院・医院にかかるとき、医師に「お薬手帳」の記録を見せますか？



		回答数	割合
1	必ず見せる	149	24.2
2	見せるときと見せないときがある	152	24.7
3	ほとんど見せない、見せない、持っていない	314	51.1
NA	無回答	317	
	総回答数	932	分母は総回答者数615
	総回答者数	615	

病院・医院にかかるとき、医師に「お薬手帳」の記録を見せますかとの質問では、24.2%のみが必ず見せると回答し、約半数はほとんど見せない、見せない、持っていないと回答しており、お薬手帳が有効活用されていない実態を反映している。これは、医師、薬剤師と消費者（患者）のコミュニケーション不足を感じる。“言われなから出さなかった”のではなく、患者さんにもお薬手帳をもっと有効に活用してもらえるようにPRが必要である。

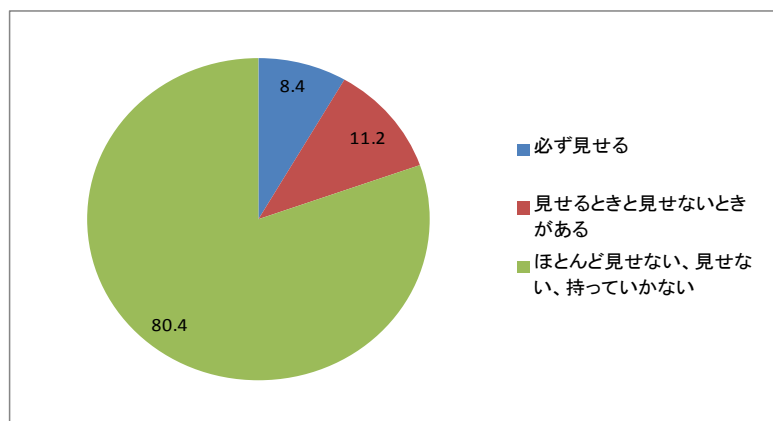
Q 1 2：薬局で処方せんによって調剤してもらうとき、薬剤師に「お薬手帳」の記録を見せますか？



		回答数	割合
1	必ず見せる	198	33.6
2	見せるときと見せないときがある	146	24.7
3	ほとんど見せない、見せない、持っていない	246	41.7
NA	無回答	342	
	総回答数	932	分母は総回答者数590
	総回答者数	590	

必ず見せるが33.6%であり、必ずしも薬局でお薬手帳の提出を求めている状況が推察される。その場合の薬局は、どのようにして他科受診の情報を入手しているのか疑問である。患者自身もそうですが、薬剤師側もお薬手帳について有効活用法が理解されていない。

Q13：薬局・ドラッグストアでOTC医薬品を買うとき、薬剤師などの専門家に「お薬手帳」の記録を見せますか？



		回答数	割合
1	必ず見せる	45	8.4
2	見せるときと見せないときがある	60	11.2
3	ほとんど見せない、見せない、持っていない	431	80.4
NA	無回答	396	
	総回答数	932	分母は総回答者数536
	総回答者数	536	

ドラッグストアでOTC医薬品を買うとき、「お薬手帳」を見せる認識が販売側及び購入者側ともに不足している。OTC薬でも医療用医薬品との相互作用があることの認識が不足しており、お薬手帳の有効利用について患者に知らせる必要がある。

Q14：病院や医院で出される薬や薬局で調剤してもらう薬について思っていることを自由に書いて下さい

		回答数	割合
1	記入あり	202	21.7
NA	無回答	730	78.3
	総回答数	932	
	総回答者数	932	

	信頼している意見
1	先生が身体に合わせて出してくれるので、先生を信用している。他12件
2	先生の指示通りに薬は飲んでる。僕の場合、信頼している先生なので何かあれば、相談する様になっています。
3	もう10年来1か所の病院でお世話になっているので信頼しているので安心してます。
4	病院で出される薬には信頼して使用できる。薬局で出される薬は効果が強すぎて副作用が発生しないか不安である。
5	持病薬については感謝するしかない。薬については医師を信じるしかない
6	薬剤師は信用しているし対応が親切

7	自分の症状にあった適切な薬を処方調剤してもらえるので良い。他4件
8	出される薬等はそれが正しいと思って服用している
9	自分の体調にあっているものをいつも調剤してもらっています。特に問題はないので助かっています
10	調剤された薬は良く効くので、とても良いと思う。今は薬について説明書がついていてわかりやすい。
11	処方箋どおり服用するよう守っている
12	良く効く
13	適宜投薬していただき感謝しております。
14	医院で出される薬は自分の身体にあっているので、ドラッグストアでは買っていません。もし買うとしたら目薬ぐらいです。
15	内科の薬が良く効いて嬉しく思っている。
16	現状では種類も多くないし、症状も治まっているので良いのではないかと思います。
17	毎月の診察で体調に合わせて薬の量を決めているので不安を感じることなく服用している。
薬の説明についての意見	
1	医師に聞きにくいとき薬剤師によく相談する非常に心強い
2	説明が丁寧でうれしい、質問にも答えてくれる、薬剤師のほう聞きやすいこともある
3	病院が混んだりしていると細かい質問をする時間がなかったりする。その分薬局で話を聞いていただいたりすることで、間違いなく薬をもらうことができると思うし、安心して使うことができる
4	病院内でだしてもらったときに薬の説明書きが無いことがある。医師から出してもらうくすりについては受け取る場所問わず徹底してもらいたい
5	簡単な説明を受ける時に、副作用のお話を詳しく聞きたいと思う。写真付きの処方せんはわかりやすくして良い。
6	現在かかっている病院で薬について説明があるし、薬局さんでも写真入りの用紙をもらっているので特に不安なこともないです
7	1個の薬の説明されても理解できない
8	副作用がある場合きちんと説明してほしい。他1件。体重増加の時はパニックになった
9	わかりやすい説明をしてもらいたい（飲み合わせの悪い場合があるときは必ず教えていただきたい）
10	疾患の特性上説明を周囲に聞こえるような大きな声でしないでほしい
11	定期的に診察してもらっていて、薬剤師さんからの説明もあるので安心して服用できる。
12	同じ薬でも薬剤師によって説明する人、説明しない人がいる。出される薬は薬剤師の人が説明する義務があると思いますが。
13	薬局では説明してくれますが、医師の説明が足りない。
14	薬についての説明が足りないと思う。他1件

15	医師の説明と、薬局で薬をもらう時に、薬の説明が違う事がある。症状に合っていると思われない薬を薬局で説明される事がある。
16	丁寧に説明してもらえて良いとは思いますが、時間がかかりすぎる時はつらい時がある。
17	医師から薬の残量や、効果についてその都度説明を受けたりしている。
18	病院、薬局 説明をしないといけない、面倒
19	処方について詳しく説明してくれるので良いと思う
20	薬剤師の説明が以前に比べて丁寧になった。他 1 件
21	医師によって処方される薬にはやはり安心感がある。副作用がある場合は明確に伝えて欲しい。
22	最近、薬について説明してくれるようになったので気にしないで使えるようになってきました。
23	先日、子供の薬を医師が出し間違えるという事がありました。薬剤師の方にその病院に電話してもらったのですが、自分も気付いたので、自分でも知識があった方がいいのだなと思いました。
24	薬剤師にいつも相談して助言をいただいている。他 1 件
25	今はほとんど薬は薬局で出ているのでよく話をしてくれます
26	個々の薬剤について説明書きがあるので親切です
処方される量が多いという意見	
1	前には多いことがあったがこのごろは日数とか量はきちんと出してもらっている
2	病院で処方される薬が多い。長い間飲んでいたのでやめるタイミングが難しく医院でも相談しているが、減らせず悩んでいる。
3	風邪薬など処方薬の種類が多く感じることもある。他 3 件
4	同じ効果の薬でもメーカーが違うものがあり、種類が多すぎる
5	大分量が多い（本当にもらった期間分飲まないといけないのか疑問）
6	多く出すことは困る
7	種類が多すぎて本当にこれが必要かと疑問に思う。他 2 件
8	新たに今までと違う薬を出すときは一辺に多量に出さないでほしい
9	量が多すぎる。病院で処方代を支払い薬局で薬代を支払い、2重支払ではないか
10	あまり薬が多いので先生に言いたいと言えない
11	どうしても多めに薬をもらうので余ることがありますが次回減らしてもらっている。ドラッグストアで買う事はほばない
OTC薬より調剤されたお薬が良いという意見	
1	症状に合わせて出ているので良い。OTCよりも安いので良い
2	長期にわたり効果出ず1年あまり余分。薬を出す医者に疑問あり
3	OTCより信頼できる。きちんと診察してもらってその症状に最も適した薬をだしていただけるから。他 1 件

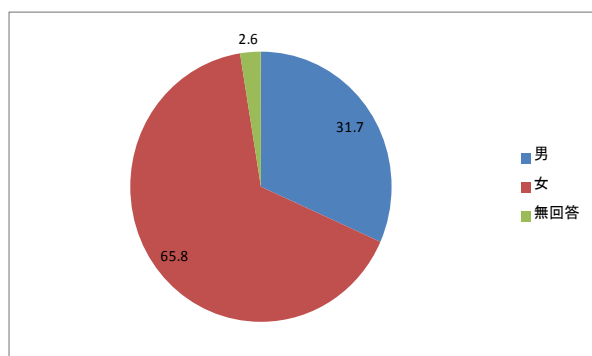
4	自分の症状に合う薬を適量にいただけるのでOTCより安心して飲むことができる。他1件
5	OTCより効果が高い気がする。他1件
6	ドラッグストアで買うよりも医師で症状を診てもらった方が、安心して服用できる。薬局で調剤してもらおう方が、信頼できる感じがする。
7	病院の薬局は別として町中の調剤薬局の薬剤師さんへの信頼度が低く薬さえもらえればいいと思ってしまう。ドラッグストアの薬剤師さんがパートで募集されていると個人の能力として勉強度が不安です。
8	ドラッグストアで買うよりも医師で症状を診てもらった方が、安心して服用できる。薬局で調剤してもらおう方が、信頼できる感じがする。他1件
9	2つの症状を持っていて（花粉症、喘息）それぞれ飲んでいて。片方の薬で良かったことを教えて頂きありがたかった。薬局で相談できるので薬局で調剤してもらう薬の方が安心できる。以前はドラッグストアで診察を受けず、飲んでいてが最近はやめた。（急な予備用として購入するくらい）
10	病院の薬局は別として町中の調剤薬局の薬剤師さんへの信頼度が低く薬さえもらえればいいと思ってしまう。ドラッグストアの薬剤師さんがパートで募集されていると個人の能力として勉強度が不安です。
	要望等
1	できる限り飲みやすい大きさにしてほしいです
2	シートや袋のごみが出るのでビンでいいと思う
3	リウマチ患者は薬を自分でアルミやプラスチックの入れ物から出すことも難しいので患者自身が扱いやすい形にしてほしいです
4	病院ではなく薬局で薬を出してほしい（病院は待たされるイメージ）
5	出された薬がどんなものなのか、薬の知識がなくてもわかるようにしてもらえたら嬉しいです。
6	できるだけ話を聞いていただき、今までの調剤されたもので調子が悪くなっていないかなど、その時かかった症状だけを見るのではなく、その人自身を確認してほしい。できるだけ安心して薬を服用できるようにしたい
7	複数の薬を飲む場合、1回ずつ分けてまとめて1袋に入れてほしい
8	血圧の薬は28日分しか処方してもらえないので特別な事情が起きた場合その調整のために病院へ通う回数を増やしたりしなくてはならず多少の便宜を図ってもらえると助かる
9	錠剤が大きすぎてのみづらい
10	1/2錠を割る薬が扱いにくい
11	忘れてしまった時の対処
12	処方された薬のくわしいことが知りたい
13	病院でもらう薬の起源を知りたい
14	高齢者には個人負担が少ないせいか余ったり使っていないものにも関わらず確認もせずに制限なく出しているような気がする（箱にいっぱいたまっています）また、本人が希望すればいくらかでも出してくれるようで（貼り薬、漢方薬）医療費の無駄遣い

	お薬手帳関係の意見
1	医者はお薬手帳を見せてくれとは言わない
2	お薬手帳に記録をつけるものが欲しい。今は薬だけを出されている。他1件
3	お薬手帳を見せてくださいと言われれば見せるがそうでない場合が多い（もつ習慣がない）震災後は多少自宅に残しておかないと怖いと思った
4	かなり昔にもらったのでホントに薬をのまないで何年もお薬手帳を使うことがない
5	お薬手帳を持参していないのに勝手にお薬シールを出され薬剤情報収集をとられることがあるので不満である
6	歯科、整形で処方された薬について薬効等の説明を受けて、歯科の薬を優先しています。お薬手帳は見たことがありません、必要なのでしょうか。
7	使いにくい。無料であることが、本人の欲しい記録帳と違う場合が多いので有料でいいから欲しいものが買えるようにする。字が小さいものが多い。
8	いつも同じ薬なので手帳の必要性を感じません
	病院や医院・医師についての意見
1	薬によって状況が改善されたなど感じて病院から積極的に薬の量や別の薬にする姿勢があまり見受けられない
2	薬の事を医師に相談しづらいときがある。
3	医師に相談すると、すぐに薬が出るが減らす又は出さない事も考えてはどうか。複数の病院にかけると、患者の申告がない限りは、他の病院で治療している病気は考慮されない、従って、ある病気に影響する薬が出されてしまう事があるので解決するシステムがあると良い。
4	先生によって薬が固定されていて症状が違っていても先生ごとにパターンが決まっている。もう少し量なども症状ごとに判断していただけたらとおもうことがある。
5	大学病院で出されている痛み止めを違う科の病院で見せたのに又痛み止めを出されました。飲んでいと言ったのに大丈夫だからと言われ帰らされました。何が大丈夫なのか分からないが誰に聞けばいいのかもわかりません。
6	医者によってはただの風邪でも何種類も薬が出てくるので飲む必要があるのかと思う
	処方日数について
1	もっと日数を長く出してほしい。他1件
2	分類していただくとかさばって、又待ち時間も長くかかって不便なので、今は自分で1週間ずつ分けて服用してます。もっといい方法は無いでしょうか
3	長期間服用して薬は投薬期間をのばしたら医療費の低減になるのではないか
4	普通薬を出せば2週間分であるが慢性的な病状に対しては30日分くらい出してほしい。通院の回数を減らしたい
5	できる限り少量出してほしい（症状により使用する薬）習慣的に使用する薬は1カ月分出してほしい
	ジェネリック医薬品についての意見
1	薬局でジェネリックをすすめられた事があるが、なんとなく不安に感じ断ったがどうしたら良かった

	たのだろうかとと思っています。
2	ジェネリックはいちいち申し出ないといけないのが面倒。塗り薬はチューブが小さすぎる。塗り方の指導もしてほしい。
3	どこの病院の処方せんでもとありますが、特にジェネリック薬の時にない事があり、先発品にかえられる事があり、納得いかないこともありました。
4	医療費が30%の時ジェネリックの薬にしたが何か怖くてよした
5	ジェネリックで薬が合わないのではっきり説明したことがある。自分で判断して使うこともある。
	金額が高いという意見
1	全体的に料金が高い様な気がする。他1件
2	薬価が高い。親切に説明して下さる。ジェネリックをもっと利用してほしい。
3	長期にわたり効果出ず1年あまり余分。薬を出す医者に疑問あり
	使用期限についての意見
1	子どもの解熱や制吐剤などの坐薬を頂く事があるのですが、使用期限が記入してあると急に夜間など症状が出たとき使用しやすいと感じました。
2	頓服薬、調剤軟膏など使用期限が分かればいいと思います
3	一度開封するとどのくらい使用できるお薬なのかわかると（効能期間等）同じような症状と思われるときに病院へ行く前に様子を見たりすることができるのでありがたい
4	慢性的な症状に対する薬は保存のきくものに限り多めに出してもらっています
	一包化についての意見
1	一包化して頂くと大変助かります
2	飲む薬が何種類か出されているので、最近、朝・昼・夕で各々まとめて一包にしてもらっているの で、飲み残しが少なくなっていて助かる。
3	チラーヂンを1回1錠半飲むのですが（こちらで）半分に割っていて1袋ずつにパックにしていただ けるのでとても助かっています
	特に医療機関にかからない意見
1	ひどい風邪をひいたときぐらいしか病院にかからないので特にない
2	あまり病院にかかることがないので…？
	その他
1	効果が強い
2	指示通り飲むようにしている
3	薬を飲むことで健康が維持されていると思うが、不安も少しあります
4	医師に処方されて使用するか、飲む飲まないの最終判断は、自己責任と考える。誤った使用や使用 しなかったとき医師薬剤師は本当に責任を負ってくれるのか。
5	もっときちんと自己管理をしないとだめだと思っています。以前にもらった軟膏などを再度調剤し てもらったりしているので。

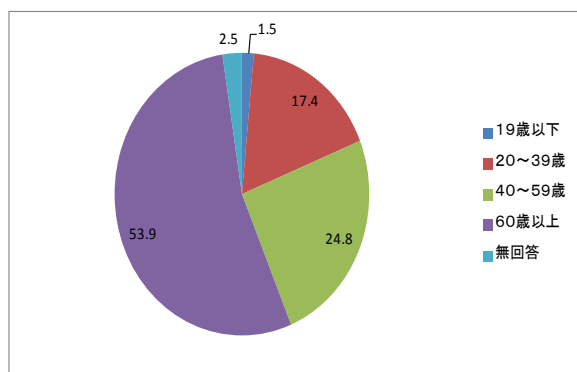
6	医師に聞きにくいとき薬剤師によく相談する非常に心強い
7	長期間服用して薬は投薬期間をのばしたら医療費の低減になるのではないか
8	薬によって状況が改善されたなと感じて病院から積極的に薬の量や別の薬にする姿勢があまり見受けられない
9	副作用について教えてください
10	病院内でだしてもらったときに薬の説明書きが無いことがある。医師から出してもらおうくすりについては受け取る場所問わず徹底してもらいたい
11	できる限り飲みやすい大きさにしてほしいです

Q 1 5 : あなたの性別を教えてください。



	回答数	割合
1 男	295	31.7
2 女	613	65.8
NA 無回答	24	2.6
総回答数	932	
総回答者数	932	

Q 1 6 : あなたの年齢を教えてください。



	回答数	割合
1 19歳以下	14	1.5
2 20～39歳	162	17.4
3 40～59歳	231	24.8
4 60歳以上	502	53.9
NA 無回答	23	2.5
総回答数	932	
総回答者数	932	

【調査考察】

病院・医院に約70%が受診し、その中で「薬が余ったことがある」の回答が60%であり医療費を抑制させることのできる部分を把握することができた調査であった。

残薬の発生については色々な原因があると思われるが、処方薬の適正使用目的のためにも、薬局薬剤師の役割は重要である。残薬の調整に関しては、医師ではなく薬剤師が積極的に関与して、残薬発生を防止する必要がある。また、処方が長期化していることも残薬の発生の原因とも考えられる。この場合、薬局側はもっと積極的に分割調剤を提案すべきである。分割調剤については患者教育、薬剤師側の認識を変える必要があります。長期処方などで日数分の在庫が無い場合、“また在庫が無いの？”と言われてしまうため、薬局側も在庫を多めに抱えざるを得ない状態にいる。しかし、30日を超える処方日数では、分割して渡すなどのルール化も必要である。そして、きちんと患者のコンプライアンスを確認し、副作用のモニターを行って残数分を渡すことができれば、残薬発生防止と副作用防止の両面で良い結果に結び付く。

お薬手帳の有効利用についても、消費者を含め患者さんに知らせる必要がある。

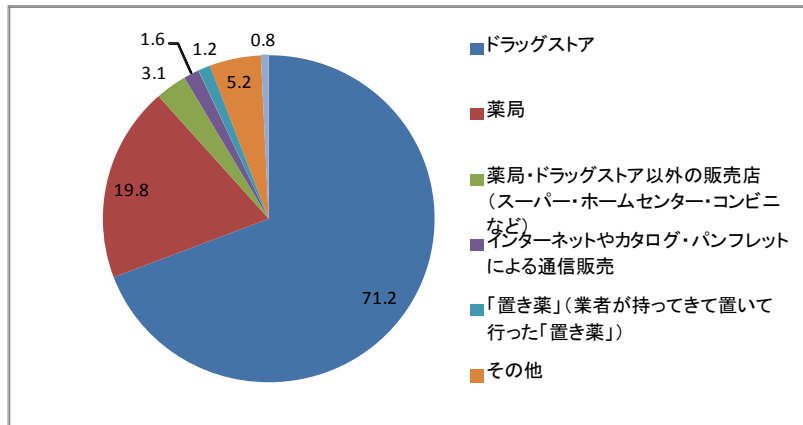
例えば、近い将来、携帯電話機能などに現在の処方内容、既往歴、アレルギー歴、副作用歴、OTC薬、健康食品などの情報を取り込んでおき、医療機関受診時に携帯電話を使って自分の基礎情報を提供することができる時代が到来した場合も、全て携帯電話の機能でカバーするという訳にはいかないので、まずは基本となるお薬手帳の正しい使い方などの説明は必要である。

また、薬剤師はドラッグストアの登録販売者にも同様にお薬手帳の有効利用について教育していく必要がある。登録販売者は、OTC医薬品だけでなく医療用医薬品に関する知識も学び、お薬手帳についての共通認識をもってもらい必要がある。

お薬についてのアンケート調査結果報告

【調査結果】

Q 1 : OTC医薬品は、おもにどこで買いますか？

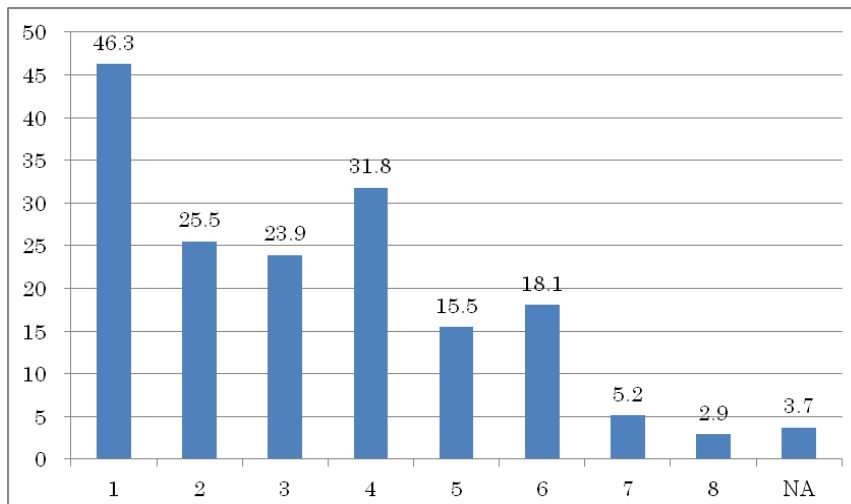


	回答数	割合
1 ドラッグストア	634	71.2
2 薬局	176	19.8
3 薬局・ドラッグストア以外の販売店(スーパー・ホームセンター・コンビニなど)	28	3.1
4 インターネットやカタログ・パンフレットによる通信販売	14	1.6
5 「置き薬」(業者が持ってきて置いて行った「置き薬」)	11	1.2
6 その他	46	5.2
NA 無回答	7	0.8
総回答数	916	
総回答者数	883	

医薬品購入者の購入場所について一般的な傾向が把握出来たと思われる結果であった。その中で、OTC薬は約70%超がドラッグストアで購入されていた。またインターネットやカタログ・パンフレットによる通信販売を利用している方が1.6%存在しており、薬局での購入が思ったより低い結果であった。OTC薬のインターネット販売については、継続的に郵送などで購入している医薬品か、いわゆる健康食品を医薬品と誤って回答していることも想定されるので判定が困難な部分でもあるが、実際はもっと低い可能性もある。

薬局での購入が低いことについて、保険薬局ではスペースに限りがありなかなか品揃えが困難な状況ではあるが、医薬品を選別して特に第1類医薬品を中心に保険薬局での取扱いを増やしていく必要がある。

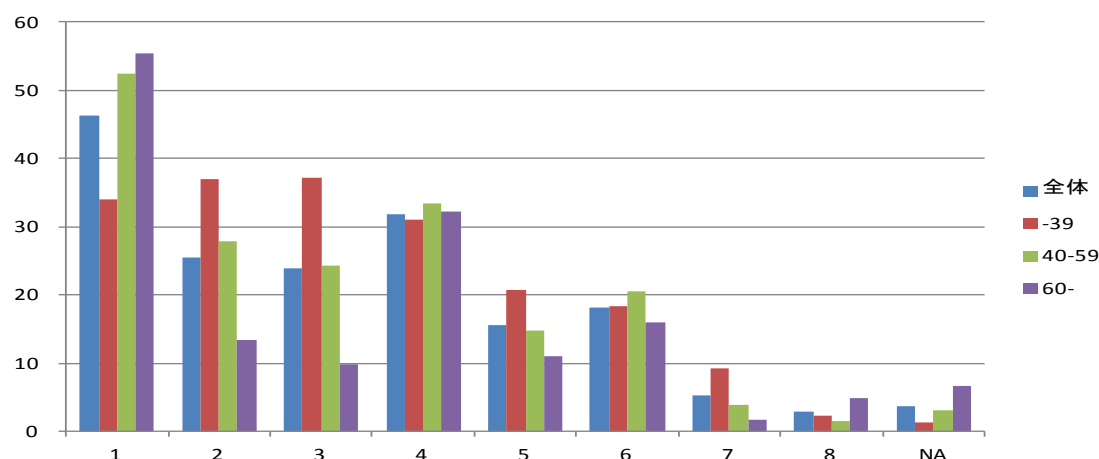
Q 2 : OTC医薬品の選び方についてお答え下さい。



	回答数	割合
1 薬剤師や登録販売者に相談して選ぶ	412	46.3
2 店内に掲示されている「おすすめ品」の表示やポスター広告などを見て選ぶ	227	25.5
3 値段で選ぶ	213	23.9
4 いつも決まったOTC医薬品を服用(使用)しているので、それを選ぶ	283	31.8
5 ほかに人からすすめられたり、評判が良いものを選ぶ	138	15.5
6 テレビコマーシャルや新聞・雑誌の宣伝をしているものを選ぶ	161	18.1
7 インターネットで調べて選ぶ	46	5.2
8 その他	26	2.9
NA 無回答	33	3.7
総回答数	1539	
総回答者数	857	

医薬品の選択に関して一般的な傾向が把握できた。その中で薬剤師や登録販売者に相談してという人は多いようだが、総回答数からすると半分にもなっていない。これはドラッグストアなどの売り場面積に対して、薬剤師、登録販売者の数が適正に配置されているか、また配置されていても話しかけられる状況なのかを分析する必要があると思われる。ドラッグストアより薬局の方が相談に乗ってもらいやすいのかもとの意見も出され、今後、患者視点による相談しやすい環境整備が必要と思われる。

<年齢別集計結果>

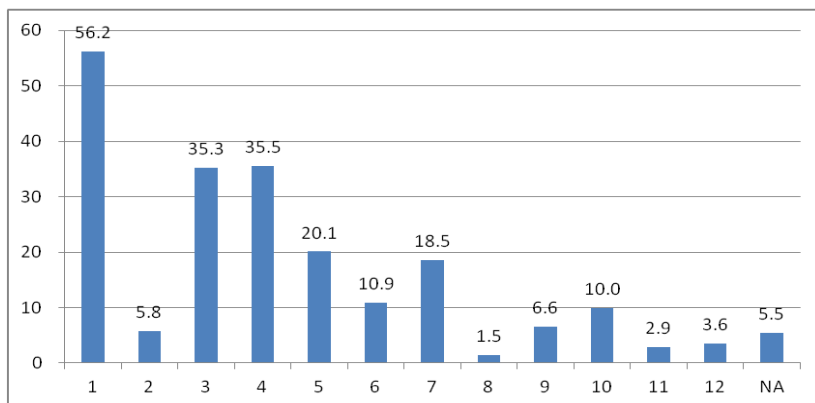


	全体	39歳以下	40歳-59歳	60歳以上
1 薬剤師や登録販売者に相談して選ぶ	46.3	34.0	52.5	55.5
2 店内に掲示されている「おすすめ品」の表示やポスター広告などを見て選ぶ	25.5	36.9	27.8	13.4
3 値段で選ぶ	23.9	37.2	24.3	9.9
4 いつも決まったOTC医薬品を服用(使用)しているので、それを選ぶ	31.8	31.1	33.5	32.2
5 ほかに人からすすめられたり、評判が良いものを選ぶ	15.5	20.8	14.8	11.0
6 テレビコマーシャルや新聞・雑誌の宣伝をしているものを選ぶ	18.1	18.3	20.5	15.9
7 インターネットで調べて選ぶ	5.2	9.3	3.8	1.8
8 その他	2.9	2.2	1.5	4.9
NA 無回答	3.7	1.3	3.0	6.7
総回答数	1539	596	478	428
総回答者数	857	308	255	274

年齢別に見ると、「薬剤師や登録販売者に相談して選ぶ」という回答は年齢の上昇により増加しており「値段で選ぶ」は年齢の上昇によって低下していた。店内の掲示やほかの人から薦められたり、評判が良いものを選ぶ傾向は、年齢が低下するほど増加していた。

この結果により若年者は店内掲示、評判さらに値段を重視する傾向である。しかし、年齢が増すに従って、医療用医薬品の使用が増えるためか薬剤師に相談してから決めているようである。

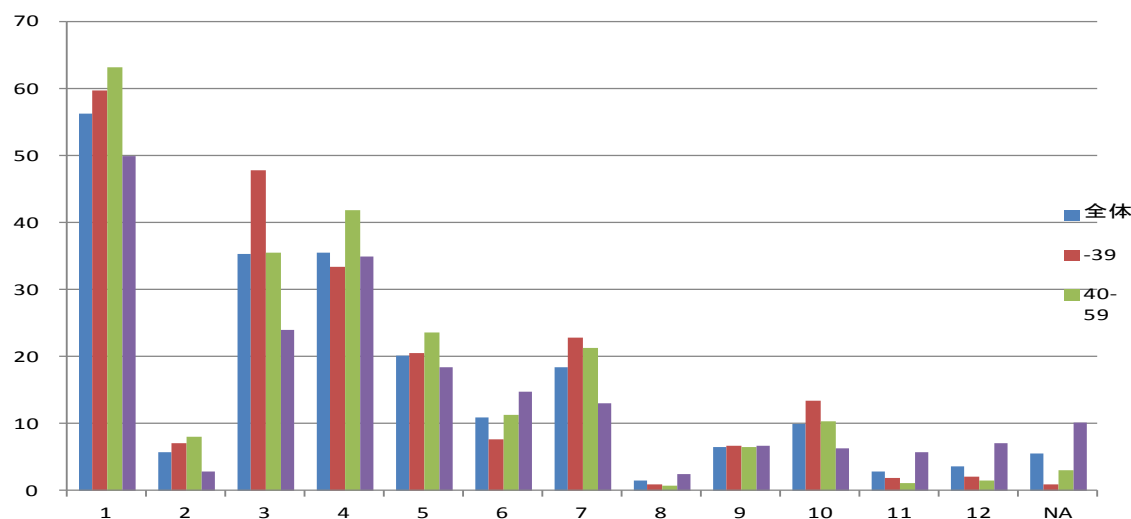
Q3：軽い病気やけがにOTC医薬品を使って対処するとき、そうする理由をお答え下さい。



	回答数	割合
1 病気やけがの症状が軽く、OTC医薬品で十分な場合だから	500	56.2
2 OTC医薬品がよく効くから	52	5.8
3 OTC医薬品の方が容易に入手できるから	314	35.3
4 自分の知識で対処できる程度の病気・けがだから	316	35.5
5 過去に起こった症状と同じで、対処法がわかっているから	179	20.1
6 かかりつけの薬局・ドラッグストアがあって相談できるから	97	10.9
7 医師の診療による治療では、時間がかかりすぎるから	165	18.5
8 医師の処方薬の副作用が心配だから	13	1.5
9 身近に相談できる家族、知人、友人がいるから	59	6.6
10 費用が安くすむから	89	10.0
11 OTC医薬品は使用しない(ごく軽い病気・けがでも医療機関にかかる)	26	2.9
12 その他	32	3.6
NA 無回答	49	5.5
総回答数	1891	
総回答者数	841	

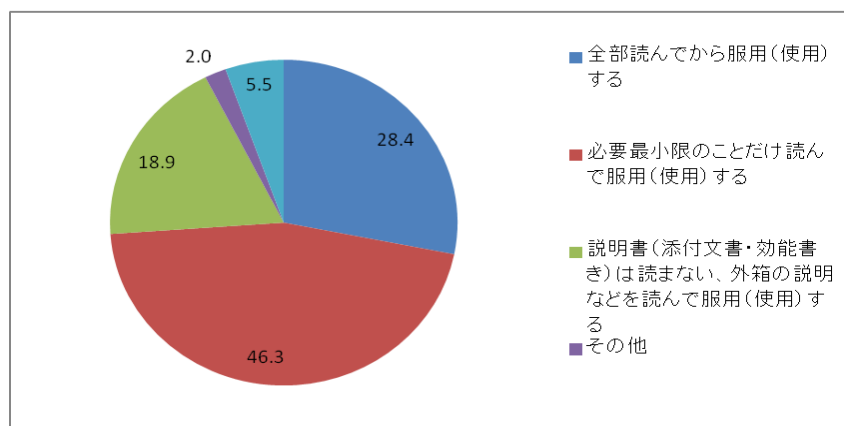
この質問において、軽い病気やけがにOTC医薬品を使って対処するときの状況を把握することができたが、2008年に日本医療薬学会で行われた調査によると「あなたは軽い病気、ケガのときセルフメディケーションを活用しますか、それとも病院・診療所で受診しますか？」に対し、セルフメディケーションと答えた割合は67.0%、病院・診療所での受診と答えた割合は31.3%という結果が出ている。質問の仕方により回答割合が変わる可能性も考慮する必要がある。その中でごく軽い病気・けがでも医療機関を受診し、OTCを利用しないが約3%あるが、セルフメディケーションがまだ認知されていないことが分かった。すぐに医療機関を受診する理由として考えられるのが、高齢者では一般用医薬品を購入するより、医療機関を受診した方が安くなるケースもあり、OTC薬の価格をもっと安くしても良いと思われる。

<年齢別集計結果>



		全体	39歳以下	40歳-59歳	60歳以上
1	病気やけがの症状が軽く、OTC医薬品で十分な場合だから	56.2	59.6	63.1	49.8
2	OTC医薬品がよく効くから	5.8	7.1	8.0	2.8
3	OTC医薬品の方が容易に入手できるから	35.3	47.8	35.4	24.0
4	自分の知識で対処できる程度の病気・けがだから	35.5	33.3	41.8	35.0
5	過去に起こった症状と同じで、対処法がわかっているから	20.1	20.5	23.6	18.4
6	かかりつけの薬局・ドラッグストアがあって相談できるから	10.9	7.7	11.4	14.8
7	医師の診療による治療では、時間がかかりすぎるから	18.5	22.8	21.3	13.1
8	医師の処方薬の副作用が心配だから	1.5	1.0	0.8	2.5
9	身近に相談できる家族、知人、友人がいるから	6.6	6.7	6.5	6.7
10	費用が安くすむから	10.0	13.5	10.3	6.4
11	OTC医薬品は使用しない(ごく軽い病気・けがでも医療機関にかかる)	2.9	1.9	1.1	5.7
12	その他	3.6	2.2	1.5	7.1
NA	無回答	5.5	1.0	3.0	10.2
	総回答数	1891	702	599	556
	総回答者数	841	309	255	264

Q4：初めて服用（使用）するOTC医薬品を服用（使用）するとき、説明書（添付文書・効能書き）を読みますか？



1	全部読んでから服用(使用)する	253	28.4
2	必要最小限のことだけ読んで服用(使用)する	412	46.3
3	説明書(添付文書・効能書き)は読まない、外箱の説明などを読んで服用(使用)する	168	18.9
4	その他	18	2.0
NA	無回答	49	5.5
	総回答数	900	
	総回答者数	841	

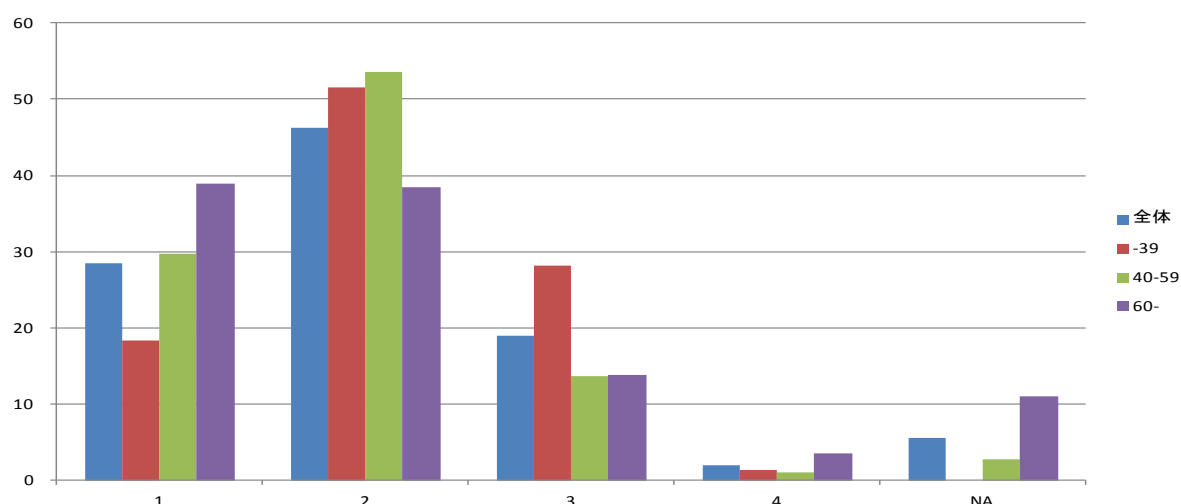
予想された結果ではあるが、添付文書を必要最小限しか読まないが46.3%、添付文書は読まないとの回答が18.9%となった。この結果からも添付文書をきちんと読まずに飲み始めている患者が多くいることが分かった。

現在、外箱包装に成分、服用方法が書かれているが、開封しないと詳しい注意などの記載を読むことは出来ない。購入後に自分で説明書を読んだら、アレルギーなどの理由で服用できないケースも発生していると考えられる。添付文書を外に出して見やすくするなどの工夫も必要である。必要最小限だけを読んで服用していると回答しているが、患者自身が考える必要最小限と薬剤師・登録販売者が考える必要最小限では異なることが予想される。さらにアンケートを進めて患者さんが読む項目を把握し、きちんと読んでもらえる添付文書作成を目指す必要がある。

また、添付文書の記載方法の統一性も考えていく必要がある。医療用医薬品のように添付文書の冒頭に重要な事項を記載し、その薬の特徴を明示する、そして、服用方法を記載するなどである。

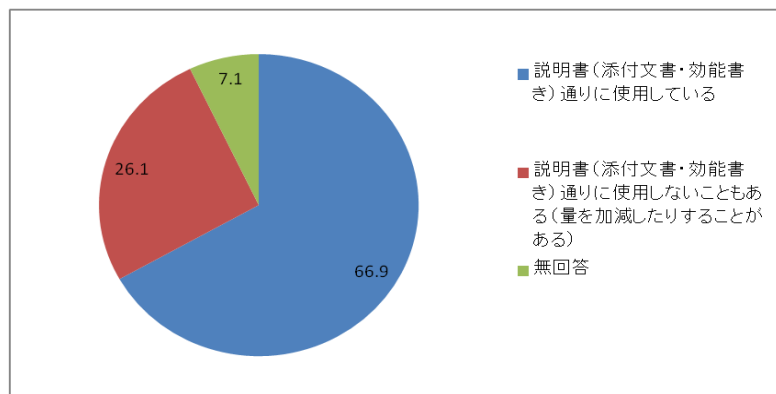
(薬事法で定められている第1類医薬品販売時の情報提供…1. 名称、2. 有効成分名・分量、3. 用法・用量、4. 効能・効果、5. 使用上の注意のうち保健衛生上の危害の発生を防止するために必要な事項、6. その他当該医薬品を販売・授与する薬剤師が必要と判断する事項)

<年齢別集計結果>



		全体	39歳以下	40歳-59歳	60歳以上
1	全部読んでから服用(使用)する	28.4	18.3	29.7	38.9
2	必要最小限のことだけ読んで服用(使用)する	46.3	51.6	53.6	38.5
3	説明書(添付文書・効能書き)は読まない、外箱の説明などを読んで服用(使用)する	18.9	28.2	13.7	13.8
4	その他	2.0	1.3	1.1	3.5
NA	無回答	5.5	0.0	2.7	11.0
	総回答数	900	310	265	299
	総回答者数	841	308	256	262

Q5：OTC医薬品を説明書通りに服用（使用）していますか？

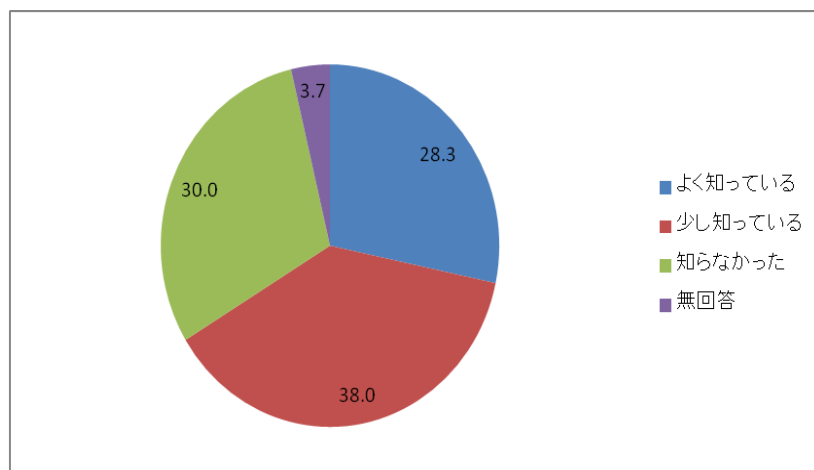


	回答数	割合
1 説明書(添付文書・効能書き)通りに使用している	595	66.9
2 説明書(添付文書・効能書き)通りに使用しないこともある(量を加減したりすることがある)	232	26.1
NA 無回答	63	7.1
総回答数	890	
総回答者数	827	

問4で添付文章を読まないに関連することではあるが、添付文書の指示を改変して使用しているとの回答が実に約1/4もあるということである。しかし、添付文書の指示通りに医薬品を使用しない場合、どの項目「効能・効果」、「用法・用量」でそうしているのかを医療者側として知っておく必要がある。

問4、5からの回答より学校教育でのくすりの正しい使い方を始め、医薬品の効果、作用など消費者に薬の適正使用の教育が必要と思われる。

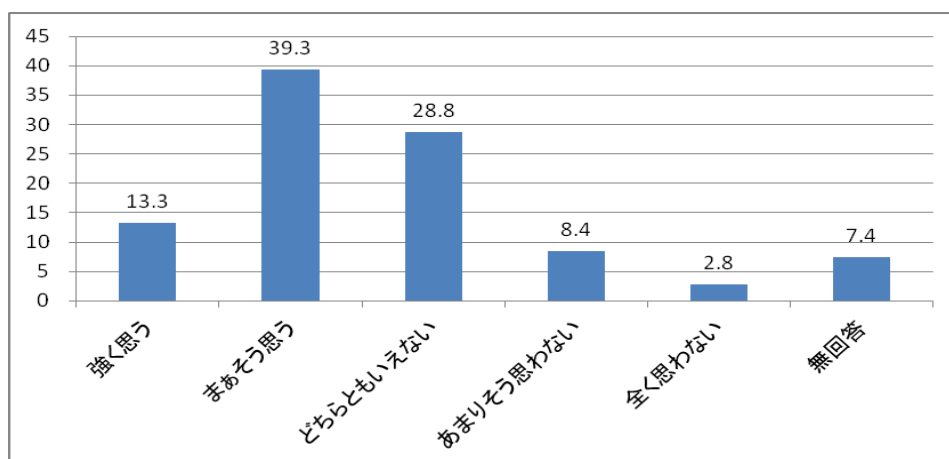
Q 6：平成21年6月、薬局・ドラッグストアでのOTC医薬品の販売方法が変わったことをご存じですか？



	回答数	割合
1 よく知っている	252	28.3
2 少し知っている	338	38.0
3 知らなかった	267	30.0
NA 無回答	33	3.7
総回答数	890	
総回答者数	857	

改正薬事法の施行を知らなかったものが現在でも約1/3 (30.0%) がある。テレビコマーシャルでは各メーカーが宣伝の一部として説明を行っているが、実施目的や実際の運用などについては明確にされていないように思える。消費者にとってあまり関心事では無いにしても、まだまだPR不足である。この事項はメーカーに依存するのではなく、行政薬剤師会として取り組むべき事柄でありきちんと国民に知らせるべきである。

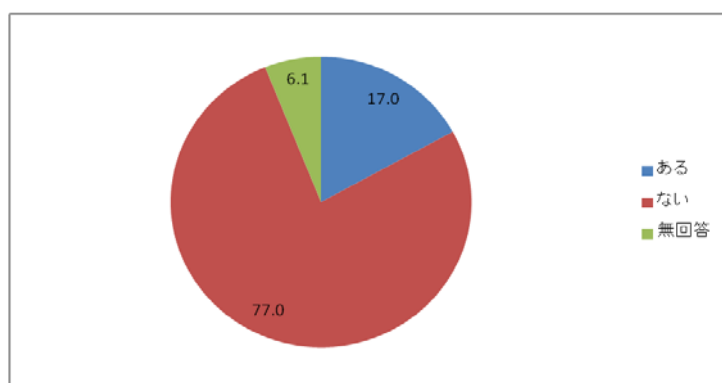
Q 7：販売方法の変更で、副作用の危険度（リスク）や注意を払って服用（使用）しなければならない程度に応じて、OTC医薬品は、第一類医薬品、第二類医薬品、第三類医薬品にリスク区分されました。分類（リスク区分）されてよかったと思いますか？



	回答数	割合
1 強く思う	118	13.3
2 まあそう思う	350	39.3
3 どちらともいえない	256	28.8
4 あまりそう思わない	75	8.4
5 全く思わない	25	2.8
NA 無回答	66	7.4
総回答数	890	
総回答者数	824	

問 6 の回答にあるようにもともと改正薬事法が理解されていないので、リスク分類についてもあまり理解されていないようである。問 6、7 の回答より改正薬事法について、国民に対してしっかりと薬剤師会としての取組みが必要と思われる。

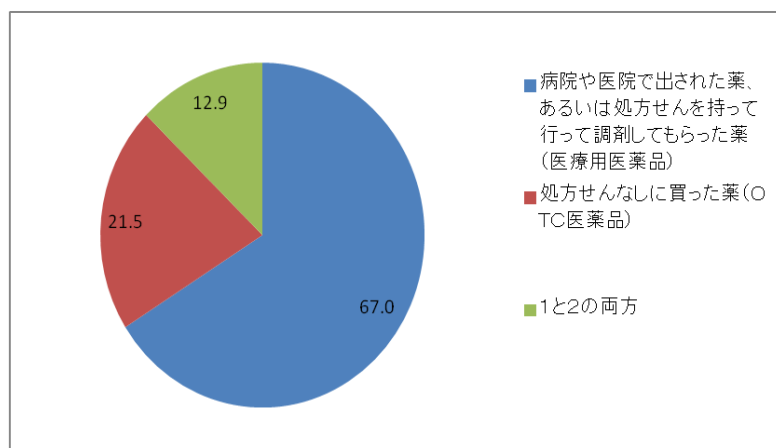
Q 8 : 今までにお薬を服用（使用）して薬の副作用と思われる症状が出た経験がありますか？



	回答数	割合
1 ある	151	17.0
2 ない	685	77.0
NA 無回答	54	6.1
総回答数	890	
総回答者数	836	

副作用発現に関する基礎事項が把握できた結果であった。副作用があると回答した 17%では、副作用の症状、程度が把握出来ない。また、説明書を読まずに服用したために副作用が出現したのかは不明である。さらに、アンケート調査などが必要と思われる。

Q 9 : そのお薬は、調剤されたものですか、それとも買ったものですか？



		回答数	割合
1	病院や医院で出された薬、あるいは処方せんを持って行って調剤してもらった薬(医療用医薬品)	140	67.0
2	処方せんなしに買った薬(OTC医薬品)	45	21.5
3	1と2の両方	27	12.9
NA	無回答	681	
	総回答数	893	分母は総回答者数209
	総回答者数	209	

副作用の経験に関する事項が把握できた。副作用の経験では医療用医薬品で多く経験されていることが把握された。また、OTC薬品では副作用が出現した場合の報告の流れが患者さんに伝わっていないことも考えられるので、今後はOTC薬の包装の中に副作用出現時の報告についての用紙を入れ、積極的な報告を推奨すべきである。

Q 10:「副作用と思われる症状」が出たお薬はどのようなお薬で、どのような症状が出ましたか？

		回答数	割合
1	回答あり	147	16.5
NA	無回答	743	
	総回答数	890	
	総回答者数	147	

	じんましん、薬疹、湿疹、発疹、かぶれ、かゆみ
1	抗生物質を服用してじんましんが出た。他 1 件
2	ポンタール じんましんが出た
3	じんましん
4	痛み止めを飲んだらじんましんが出た
5	薬を飲んで鼻血が出た、じんましんが出た
6	薬疹がでた。他 4 件
7	薬はわかりません。薬疹が出ました
8	かぜ薬を飲んで薬疹
9	クラビット (薬疹)
10	胃薬→薬疹
11	抗生剤と痛み止めを飲んだら薬疹が出た
12	降圧剤と胃腸薬の飲み合わせで薬疹が出た
13	腰に湿布を貼ったら手足に薬疹
14	抗生物質で薬疹が出た
15	親知らずを抜いた時、痛み止めと抗生物質が出され薬疹が出た。他 1 件
16	かぜ薬の中の炎症をおさえる薬だと思うのですがそれで全身に薬疹が出た
17	痛み止めをもらったら薬疹が出た。他 3 件
18	かぜ薬を飲んだら薬疹が出た
19	抗生剤 全身に湿疹。他 1 件
20	出産後、抗生剤を飲み、口内炎や湿疹が出た。

21	湿疹 かゆみ。他 2 件
22	湿疹(胃の薬)
23	ビタミンCで湿疹が出た
24	高血圧のくすりを長期服用した為、許容範囲をオーバーしたため湿疹が出た（細胞検査をした）
25	鎮痛薬(OTC)服用時の発疹
26	肩コリで湿布をしたら手に湿疹がでた
27	クラリス 発疹が出た
28	風邪をひいてペニシリン→発赤。抜歯をしてサワシリン→発疹
29	体にぼつぼつができてかゆみが出た。他 1 件
30	湿布薬で赤くかぶれた。他 6 件
31	顔がかぶれた。
32	かぶれ。他1件
33	筋肉痛の湿布薬を貼ったら赤くかぶれた
34	注射でかぶれた
35	ニキビの抗生物質で体にかゆみ
36	胃腸薬で手足のかゆみ、胸苦しくなった
37	何の薬か忘れたがかゆみが出た
	吐き気、悪心、むかつき、気分悪い、めまい、頭痛
1	痛み止めで吐き気。他 1 件
2	禁煙パッチ→めまい、吐き気
3	鉄剤を飲んだら吐き気と便秘になった
4	鉄剤を飲んだら気持ち悪くなった。
5	バファリン 気分が悪くなり吐き気
6	アネトンを飲んだら吐いてしまった
7	便秘薬を服用して悪心、嘔吐、眠気が出た。他 1 件
8	アリナミンドリンク剤で友人からもらって、服用し吐き気がでたりして病院に行く
9	ある病院で出された薬（風邪をひいたとき）インドメタシン、ミノサイクリン。吐いて腹痛。
10	漢方薬で気持ち悪くなった
11	ホクナリンテープで気分が悪くなった。
12	気分が悪くなりました
13	頭痛・むかつき
14	はきけ
15	肺炎の予防注射で気持ち悪くなった
16	精神安定剤を飲用したら気分が却って悪くなった
17	禁煙パッチ→めまい、吐き気

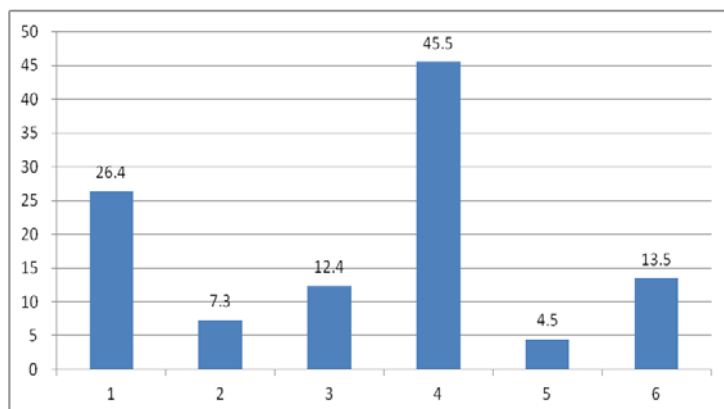
18	痛み止めを飲んだらめまい、吐き気がした
19	抗生物質を服用してめまいが出た。
20	ミノマイシン→めまい、他 1 件
21	漢方薬で汗、動悸、めまいが出た。
22	S 病院の内科で処方された薬を、医師が用量をまちがえて1日に3日分飲むように処方されて、めまい、フラフラ、眠気がひどくなりました。
23	胃薬を飲んだらクラクラ目まいがした
24	咳止めの薬で目まいがした
25	頭痛薬をのみ目まいがした
26	目まいがした
27	頭痛・むかつき
28	頭痛
	胃の症状
1	抗生物質を飲んだら胃痛がした。他 3 件
2	ジスマロックを服用したら胃痛がすごく出た
3	生理痛の痛み、胃が荒れた。
4	痛み止めで胃を悪くした。
5	胃がすごく痛くなった
6	ロキソニン 胃が痛くなり、すぐやめた。圧迫骨折の鎮痛薬として処方された
	眠気
1	夜ねむれないと言って薬をもらって夜飲んだら、次の日の日中もぐうぐう寝てしまった。
2	鼻炎の薬を飲んだら眠気がひどくきた。他 1 件
3	風邪薬を服用したら 1 日中眠くて仕事をするのが辛かった
4	P L 眠くなった
5	アレルギーの薬で眠気強かった
6	風邪・鼻炎の薬で異常に眠くなった
	便秘
1	鉄分補充錠剤にて便秘と肌荒れ
2	鉄剤を飲んだら吐き気と便秘になった
3	咳止めを飲んで便秘になった
4	睡眠薬を飲んだらろれつが回らなくなった、便秘
5	かぜ薬で便秘になった。
6	骨密度を高めるくすりを医師の処方で飲んだら便秘になって困った
	腹痛他腹部の症状、下痢
1	お腹をこわした
2	腹部膨張
3	チョコラBBでお腹が痛くなった。

4	ある病院で出された薬（風邪をひいたとき）インドメタシン、ミノサイクリン。吐いて腹痛。
5	かゆみ、下痢
6	下痢（逆流性食道炎の薬を飲んだら）
7	胃痛止めを飲んだら下痢をした。
8	痛み止めをのんだら激痛と下りをおこした
	むくみ、腫れ
1	顔がむくんだ。
2	不整脈の薬で足がむくんだ
3	むくんだ
4	皮膚の腫れ、水疱
5	目の周りが腫れた
6	かぜ薬で赤くはれた
	動悸、息切れ等
1	医院の処方のかぜ薬で動悸が激しくなり、倒れてしまい1時間ほど休んで回復した医師に話すとリン酸コデインが原因と言われた
2	ニキビの抗生物質で体にかゆみ、冷や汗、動悸が出た
3	漢方薬で汗、動悸、めまいが出た。
4	胃腸薬で胸苦しくなった
	しびれ、震え
1	胃薬を飲んだらしびれが出た。他1件
2	たくさん服用していたので特定できません。顔頬がしびれていた
3	かぜ薬で手のしびれが出た
4	アレルギーの薬で口のまわりがしびれた
5	ホクナリンテープで手が震えた
6	咳止め→震え→中止
7	スピロペント→手の震え
	尿の症状
1	尿が出にくくなった
2	花粉症でのんだ薬で尿が減った
3	血圧の薬で夜中に尿回数が多くなった
	咳
1	タミフルを服用。解熱後も飲み続けるよう言われて飲んだら夜中に咳がとまらなくなり、息苦しくなり、その後飲むのをやめた
2	降圧剤（レニベース）咳がとまらなくなった
	その他
1	抗生物質でカンジタになった

2	出産後、抗生剤を飲み、口内炎や湿疹が出た。
3	ベガモックス点眼薬で目の痛み・充血
4	セフェム系でアナフィラキシーショック
5	鼻炎の薬で鼻とのどが強くピリピリした。2～3日のどが痛かった
6	鼻炎薬を飲んだらとても喉が、かわいた。
7	抗精神病薬で舌のもつれ
8	足のつり、脂質
9	糖尿病の新薬をのんだら食欲がなくなったのでやめました
10	ピリン系 湿疹が出た、喘息みたいになった
11	胃痛止めを飲んだら下痢をした。筋肉痛の液体薬をぬったらブツブツが出た。
12	便秘薬を服用して悪心、嘔吐、眠気が出た
13	漢方薬を飲んだらだるくなって足首に違和感
	薬の名称等で記載
1	風邪薬（パブロン）
2	注射
3	グラチリン かぜ薬として頂いた
4	抗生物質
5	血圧の薬
6	ピリン系痛み止め
7	肝
8	①ノルモナール（たった1粒で糖尿病と同格の症状になった）②クラビット（薬疹）③タケプロンOD30（げりがひどく服用中止）④ロペミンカプセル1mg（腹痛・下痢すごかった）⑤コロネル500mg（腹痛・便秘で苦しんだ）⑥パリエット10ミリ（げり・お腹が張りすごく苦しくなった）
	「副作用と思われる症状」が出たお薬と症状は特にない
1	あまり出た事がない
2	ヨーロッパに住んでいた時、多分薬が強すぎた
3	病気にならないので
4	若い時にあったが今は一切ない
5	別になし。他2件

多種の副作用が報告されている。これらの副作用はきちんと報告されているのだろうか。医療用医薬品であれば報告されている可能性があるが、一般用医薬品では報告されていない可能性が高い。一般用医薬品の副作用発現時の報告を義務付けることも必要と思われる。また、この症例の中には薬剤師がきちんと副作用の説明をしていれば防げた事例もあると考えられる。

Q 1 1 : 「副作用と思われる症状」が出たとき「最初に」あなたはどうしましたか？



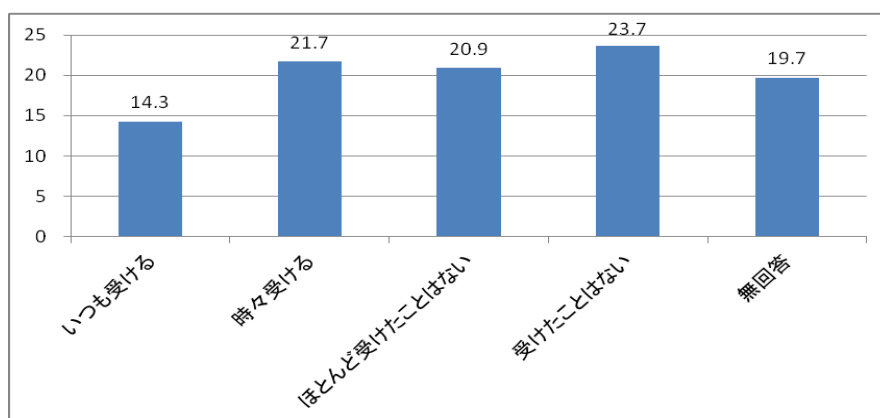
	回答数	割合
1 なにもしなかった	47	26.4
2 OTC医薬品の説明書や薬と一緒にもらった説明書を読んだ	13	7.3
3 薬局・薬剤師に連絡した(再び、薬局(ドラッグストア)を訪れた)	22	12.4
4 病院・医院・医師・歯科医師などに連絡した(病院・医院を訪れた)	81	45.5
5 救急車を呼んで病院へ行った	8	4.5
6 その他	24	13.5
NA 無回答	712	
総回答数	907	分母は総回
総回答者数	178	

副作用出現時の対応として病院、医院、医師、歯科医師に連絡を取ったが 45.5%と最も高くきちんと対応できているようであった。何もしなかったが 26.4%あるが、経過観察をしていたとも考えられる。OTC医薬品の説明書や薬局でもらった説明書を読んで原因を探している様子も伺える。救急車を呼んで病院へ行ったケースもあり、副作用出現時の対応方法を含めての販売を心がけるべきと思われる。

Q 1 2 : あなたは薬局・ドラッグストアでOTC医薬品を買うとき次のような質問を受けますか？

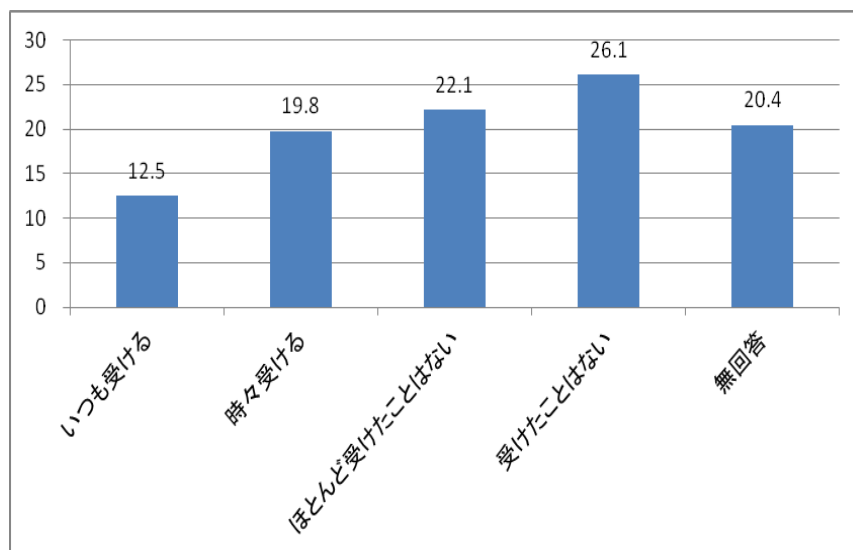
総合

◆ 「過去に薬を服用(使用)して副作用やアレルギー症状が出たことがあるかどうか」についての質問

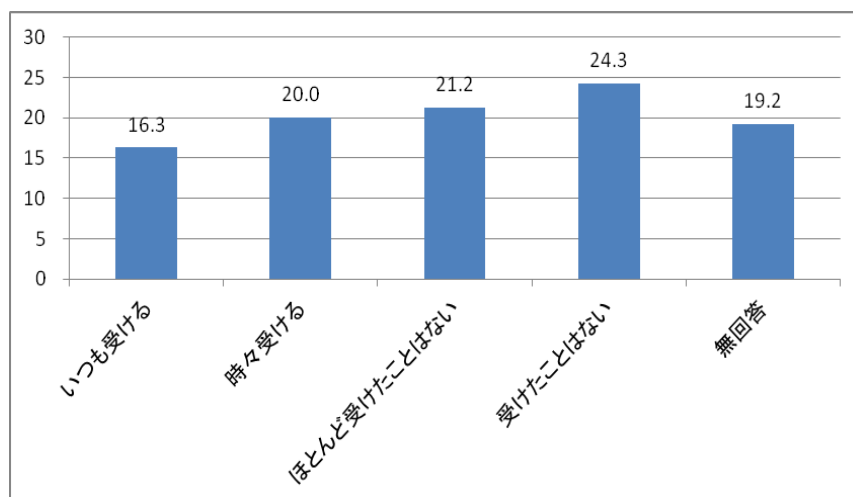


	回答数	割合
1 いつも受ける	127	14.3
2 時々受ける	193	21.7
3 ほとんど受けたことはない	186	20.9
4 受けたことはない	211	23.7
NA 無回答	175	19.7
総回答数	892	
総回答者数	715	

◆ 「アレルギー体質かどうか、薬以外の食物などでアレルギー症状が出たことがあるかどうか」についての質問

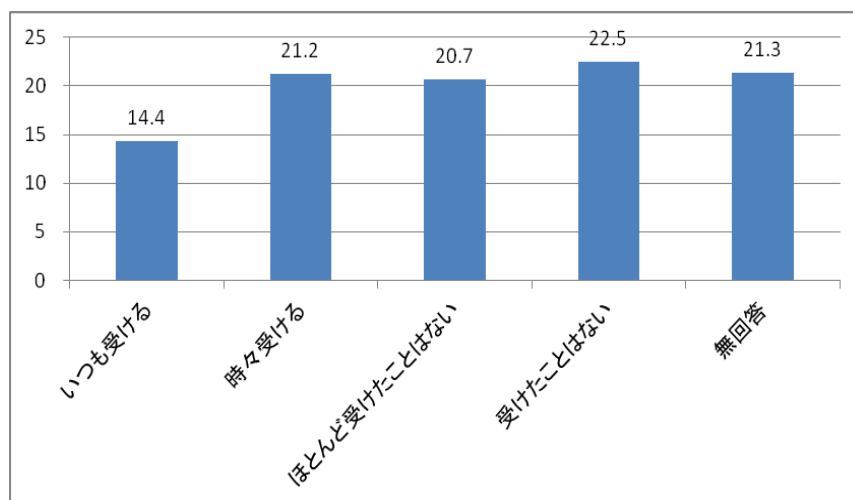


◆ 「現在治療中の病気があるかどうか、病院・医院にかかっているかどうか」についての質問



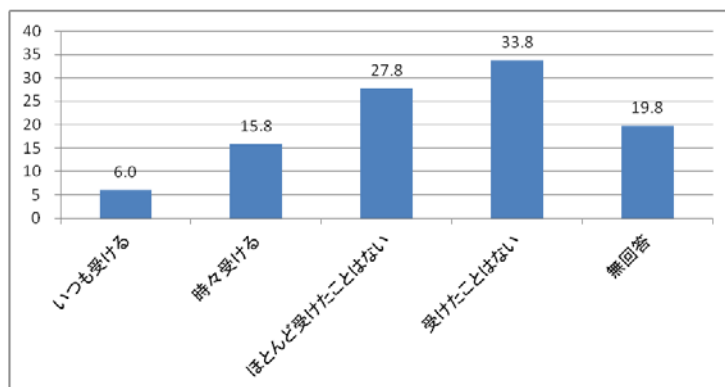
	回答数	割合
1 いつも受ける	111	12.5
2 時々受ける	176	19.8
3 ほとんど受けたことはない	197	22.1
4 受けたことはない	232	26.1
NA 無回答	182	20.4
総回答数	898	
総回答者数	708	

◆ 「現在服用中の薬（ＯＴＣ医薬品、医療用医薬品のいずれも）があるかどうか」についての質問



	回答数	割合
1 いつも受ける	128	14.4
2 時々受ける	189	21.2
3 ほとんど受けたことはない	184	20.7
4 受けたことはない	200	22.5
NA 無回答	190	21.3
総回答数	891	
総回答者数	700	

◆ 「現在服用中の健康食品やサプリメントがあるかどうか」についての質問



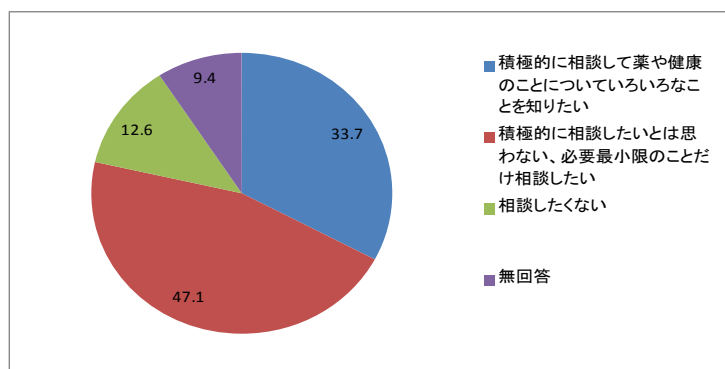
	回答数	割合
1 いつも受ける	53	6.0
2 時々受ける	141	15.8
3 ほとんど受けたことはない	247	27.8
4 受けたことはない	301	33.8
NA 無回答	176	19.8
総回答数	918	
総回答者数	714	

あなたは薬局・ドラッグストアでＯＴＣ医薬品を買うとき次のような質問を受けますかの質問では、委員会においては「質問は受けているのだが、アンケート回答者がそれを忘れていてのでは？」との意見もあったが、医薬品販売時にこうした必須事項ともいうべき事柄の確認がされて

いない実態が浮き彫りとなった。

残念ながら、最近公開された、いわゆる「覆面調査」で指摘された「一般用医薬品の情報提供が正しく励行されていない」という結果を「医薬品販売時の基本的な情報収集も励行されていない」という点で裏付けるものとなった。これについては薬剤師のみならず登録販売者とも共有すべき問題点ではないかと考えられる。この結果を真摯に受け止め、OTC販売マニュアルなどを作成し、その販売の標準化を図ることが必要と思われる。

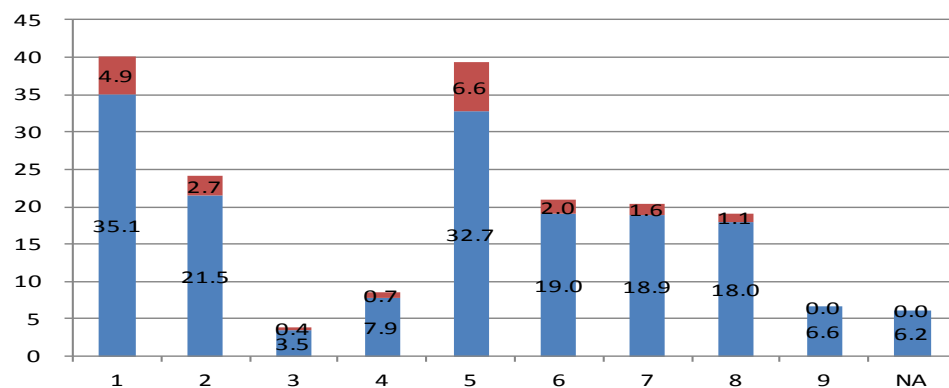
Q13：薬局やドラッグストアでは、OTC医薬品について薬剤師などの専門家に積極的に相談したいと思いますか？



	回答数	割合
1 積極的に相談して薬や健康のことについていろいろなことを知りたい	300	33.7
2 積極的に相談したいとは思わない、必要最小限のことだけ相談したい	419	47.1
3 相談したくない	112	12.6
NA 無回答	84	9.4
総回答数	915	
総回答者数	806	

積極的に相談したいと、必要最小限の相談と回答された方を合わせると約80%が何らかの形で相談したいと思っていることがわかる結果であった。しかし、「積極的に相談したいとは思わない、必要最小限のことだけ相談したい」、「相談したくない」の回答についてその理由を問う調査の必要がある。2008年調査では「相談する時間がない」とか「普段利用する薬局に薬剤師がいないことが多い」（というより、当時は名札着用の規定がなかったので、誰が薬剤師かわからない、のかも）理由が多かったが、最近の調査では名札着用のためか、この理由は減少していると考えられる。また、「高価な（または不要な）医薬品や健康食品をすすめられそうだから」ということで相談したくない、という人も約20%あり、実際に相談された方が満足して「これからも、健康のことや薬のことは薬剤師に相談しよう」という気持ちになってもらうためにも、真摯で地道な薬剤師職務の遂行を心がけることと思われる。

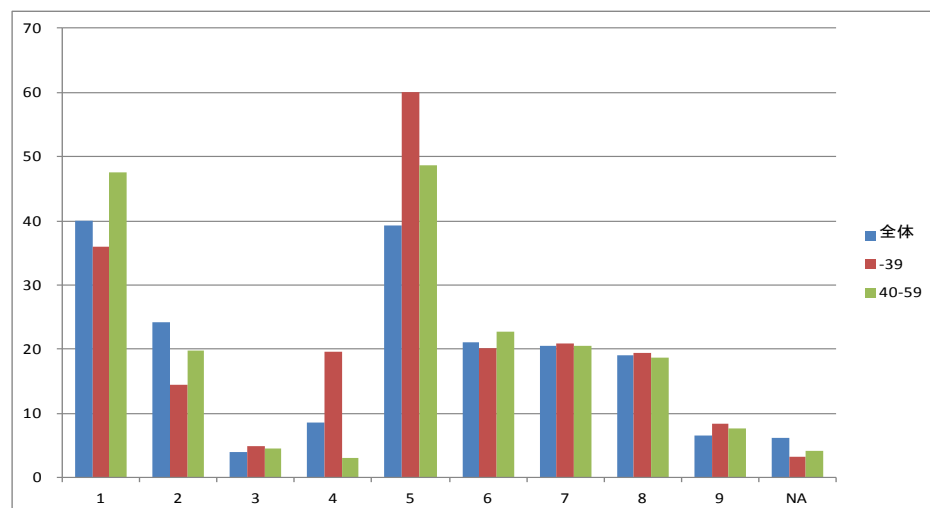
Q14：ふだんの生活で医薬品や健康についての情報がほしいとき、どこから情報を手に入れますか？



当てはまるもの全部に○印をつけ、最もよく使うものに◎印をつけてください				
	○		◎	
	回答数	割合	回答数	割合
1 薬剤師などの専門家(薬局・ドラッグストアで)	312	35.1	44	4.9
2 医師や看護師などの専門家(病院・医院などの医療機関で)	191	21.5	24	2.7
3 ヘルスケアショップ、化粧品店など薬局・ドラッグストア以外のお店で	31	3.5	4	0.4
4 スポーツクラブなど	70	7.9	6	0.7
5 インターネット	291	32.7	59	6.6
6 書籍・雑誌・新聞	169	19.0	18	2.0
7 テレビ・ラジオ	168	18.9	14	1.6
8 人づてに(家族、友人、知人など)	160	18.0	10	1.1
9 その他	59	6.6	0	0.0
NA 無回答	55	6.2	0	0.0
総回答数	1506		179	
総回答者数	835			

ふだんの生活で医薬品や健康についての情報がほしいとき、どこから情報を手に入れますかの質問では薬剤師などの専門家と回答が35.1%と高かったが、次いでインターネットと回答したのが32.7%と高かった。インターネットの普及により情報入手が手軽に出来る点で多く利用されていることが窺われる。特に若年層では「積極的にインターネットで医薬品情報を入手している」のか、現在の薬局は多くが調剤専門で処方せんを持っていないと入店すら出来ない状況のため、一般用医薬品の情報は入手できないのに加えて、ドラッグストアでは通り一遍の説明でいわゆる「推奨販売品」が出てくる状態で、一般薬について「相談できる場所がないので、しかたなくインターネットで情報を入手している」のかを吟味する必要がある。また、インターネットでの落とし穴にも警戒が必要である。インターネットの便利さと誤った情報も存在するため、その恐ろしさについて啓発も必要である。

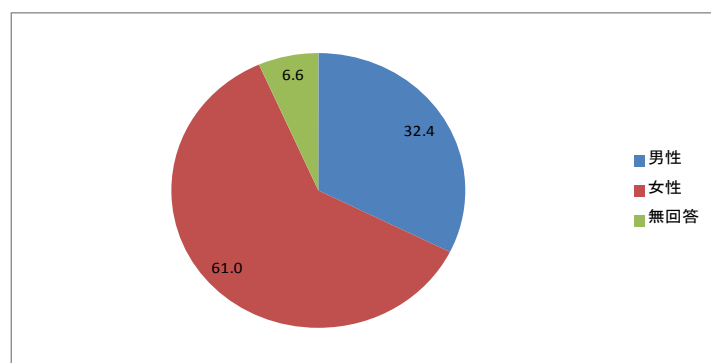
<年齢別集計結果>



		全体	39歳以下	40歳-59歳	60歳以上
1	薬剤師などの専門家(薬局・ドラッグストアで)	40.0	35.9	47.5	39.9
2	医師や看護師などの専門家(病院・医院などの医療機関で)	24.2	14.4	19.7	39.6
3	ヘルスケアショップ、化粧品店など薬局・ドラッグストア以外のお店で	3.9	4.8	4.6	2.7
4	スポーツクラブなど	8.6	19.6	3.1	1.7
5	インターネット	39.3	60.0	48.7	11.6
6	書籍・雑誌・新聞	21.0	20.2	22.8	21.1
7	テレビ・ラジオ	20.5	20.8	20.5	20.5
8	人づてに(家族、友人、知人など)	19.1	19.5	18.6	20.8
9	その他	6.6	8.3	7.6	3.8
NA	無回答	6.2	3.2	4.2	5.8

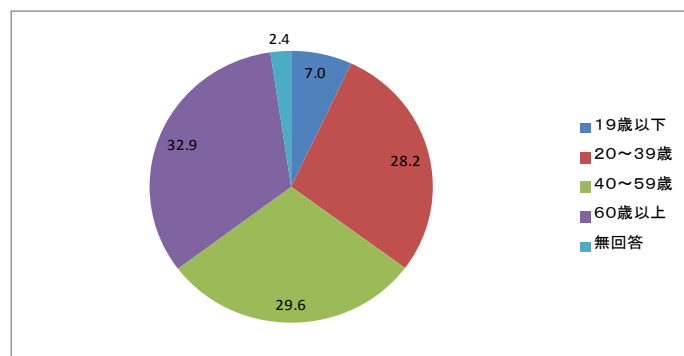
年齢別に見ると、インターネットからの情報収集は年齢が若くなるに従い増加し、医師や看護師などの専門家からの情報収集は年齢が増すごとに増加している。

Q 1 5 : あなたの性別を教えてください。



	回答数	割合
1 男性	288	32.4
2 女性	543	61.0
NA 無回答	59	6.6
総回答数	890	
総回答者数	831	

Q 1 6 : あなたの年齢を教えてください。



	回答数	割合
1 19歳以下	62	7.0
2 20~39歳	251	28.2
3 40~59歳	263	29.6
5 60歳以上	293	32.9
NA 無回答	21	2.4
総回答数	890	
総回答者数	869	

【調査考察】

日本人はくすり好きな国民でありながら、くすりに対して正しい知識をもっている訳ではない。忙しいだけの理由で薬についての説明を拒むケースもある。医師は“薬を処方する人”と考えている患者もあり、医師からも「自分は薬屋じゃない」という言葉も聞かれる。医療用医薬品においてこのような現状があるので、OTC薬はなおさらである。

改正薬事法についても、消費者には伝わっていないと思われる。

薬剤師は、改正の目的とリスク分類など、その意味をくわしく説明する義務がある。今回のアンケート調査では判断出来ないが、第1種医薬品の販売においてきちんと説明されているのか不安な部分もある。また、消費者（患者）はきちんと説明を聞いて理解しているのだろうか。患者自身も安易に「以前に説明を聞いたことがある」などと言って、初回であっても話を聞かないで購入することも考えられる。

今後の対応として、行政・薬剤師会によるOTC薬を購入する場合の患者教育が必要と思われる。この患者教育は1店舗が行っても、教育効果が見込まれないので全国的・全県的な展開が必要である。

一方、薬剤師、登録販売者側にも問題があり、対面販売が実際に行われていない現状がある。第1種医薬品は患者さんの手に届かない所に配置されていても、対面販売において、本来聞くべきアレルギーなどの項目が聞かれていないという事がアンケート結果でも明らかとなり、重大な問題と受け止めるべきである。

また、一般用医薬品の添付文書を外箱にも用意し、購入前に患者自身が添付文書を読める環境を作らなければならない。また、その記載もその医薬品の特徴などがもっと分かりやすいように企業側に依頼すべきである。

現在、医療用医薬品を使用している患者さんについて、医療費を抑制する目的で一般用医薬品にシフトすることを考えた場合、テレビコマーシャル代に相当費用を注いでいる企業は、コマーシャルを薬局・薬店、ドラッグストアに対して行いその高額な費用を価格低下へ繋げていただきたい。

医療用医薬品は2年毎に薬価改定が行われているが、一般用医薬品ではメーカー主導で価格が決定しており、特に大量購入、大量販売するチェーン店が価格の安い現状がある。これを考えると相談は薬局に行き、実際は価格の安いドラッグストアで購入することも予想される。これらを考え、一般用医薬品においても全国统一価格などの考えがあっても良いと思われる。

まとめ（今後の方針）

今回の調査の目的は、医薬品を適正に使用するために薬局薬剤師が県民に対してどのような啓発や知識の普及を図らなければならないかについて、アンケート調査を行うことにより把握することにあります。

本来、医薬品を消費者（患者）に渡す際には、薬剤師等の専門家が医薬品そのものだけでなく、それに付随する情報も与えなければなりません。その役割を専門家としてきちんと実行しているか、また消費者や患者は薬の効果だけでなくリスクに関しても知識を持っているかについても含めての調査となりました。

結果を見ると、OTC 医薬品に関してはまだまだ十分な情報を与えているとは思えず、消費者も薬に関する情報を十分に持っているとは思えない状況でした。このことを薬剤師などの専門家がしっかりと認識し、薬局において特にリスクの高い医薬品（第一類医薬品、指定第二類医薬品）の情報提供に努めなければならないことが示唆されました。またアンケート調査結果により、この情報提供を県民が望んでいる事が窺えました。

そして、さらに、平成 24 年度から始まる中学校における「おくすり教育」や地域での薬に関する講演会等については、薬剤師として積極的に関与して「正しい薬の使い方」を普及啓発いくことが大切であると思われます。

次に、残薬の調査では、一般の家庭には無駄な薬が多く残っていることが推察できる結果でした。この調査結果を反映するかのように、今回の診療報酬改訂では、長期処方が多くなっている現状により、服薬指導時に薬剤師が患者さんに対して残薬等の情報を確認することになりました。また、お薬手帳の発行も義務付けられたこともあり、患者さんの薬に関する情報は薬剤師として十分に把握し指導していく必要があると言えます。

最後にこの結果をみて、県民に対し薬剤師は薬の専門家として、薬の作用を説明するだけでなく、副作用発現の防止、及び早期発見の役割を十分に果たすよう努力し、真のかかりつけ薬局を目指し、選ばれる薬剤師となるように研鑽する必要があります。

そのために、神奈川県薬剤師会としては、医薬品に関する薬局薬剤師への情報提供を充実し、県民の多様なニーズに応えるようにホームページ等で医薬品の適正使用を啓発することが重要であると考えております。

神奈川県薬剤師会 医薬品適正使用啓発事業 医薬品適正使用調査委員会

(敬称略 順不同)

東京薬科大学 教授 渡辺 謹三

日本チェーンドラッグストア協会 副会長 小田 兵馬

特定非営利活動法人 神奈川県消費者の会連絡会 代表理事 今井 澄江

神奈川県病院薬剤師会 理事 金丸 茂樹

神奈川県薬剤師会 副会長 嶋 元

神奈川県薬剤師会 常務理事 鵜飼 典男

神奈川県薬剤師会 理事 島田 清文

協力 神奈川県保健福祉局生活衛生部薬務課